

2023



KANSAL UNIVERSITY PRESS

関西大学出版部
図書目録

目次

2022年度刊行分 新刊案内	2
----------------	---

関西大学出版部出版図書	6
哲学・心理学・宗教	6
歴史・地理	8
社会科学 — 社会科学総記	10
— 政治	11
— 法律	12
— 経済・経営	14
— 社会	16
— 教育	18
自然科学	20
工学・工業	21
芸術・生活	22
語学	23
文学	26

関西大学東西学術研究所出版図書	29
-----------------	----

関西大学経済・政治研究所出版図書	36
------------------	----

電子書籍一覧	37
--------	----

著訳編者名索引	39
---------	----

書名索引	42
------	----



電子
のみ

……電子書籍のみ



紙のみ

……紙書籍のみ

※アイコンのない書籍は紙・電子どちらも対応

2022年度刊行分 新刊案内



詩と哲学のあわい — 宗教哲学・比較思想論攷 —

井上 克人 著

A5上製 514頁 定価 6,270円 (本体 5,700円+税) ISBN 978-4-87354-756-5 C3010 (2023.1) ㊞

詩作と哲学的思索にはともに語りえざるものを語ろうとする営みがある。本書はそれを踏まえながら、宗教哲学と比較思想の視点に立って、日本文化の深層を探り、大燈国師・西田幾多郎・鈴木大拙に見る禅の本質に迫り、徳川期古学派の古典理解をドイツ解釈学に照らし合わせ、内藤湖南の歴史認識に見る哲学的傾向をも指摘する。



スイス観光業の近現代 — 大衆化をめぐる葛藤 —

森本 慶太 著

A5上製 184頁 定価 3,080円 (本体 2,800円+税) ISBN 978-4-87354-758-9 C3022 (2023.2) ㊞

19世紀スイスではアルプスを中心に観光業が発達した。しかし、20世紀前半には世界大戦、世界恐慌、それに隣国の保護主義からの移動制限により、観光業は危機的状況に陥った。時代の変化に対応するべく観光業界は結集し、大衆化を軸に新たな観光形態を模索する。このスイス観光業の近現代史は、混迷の中にある観光業界に示唆を与えるだろう。



環境政策と責任保険 — 事後・事前的措置としての経済効果の定量分析 —

桑名 謹三 著

A5 304頁 定価 3,960円 (本体 3,600円+税) ISBN 978-4-87354-757-2 C3033 (2023.1) ㊞

海外では、環境政策に多用されている責任保険であるが、日本ではあまり用いられていない。本書は、責任保険を用いた環境政策が日本経済に与える影響を一般均衡モデル、部分均衡モデルを用いて定量的に分析・評価したものである。また、同モデルを用いて環境税制の運営コスト（取引コスト）の影響の評価も行っている。



防災教育学の新機軸 — まなび合いのアクションリサーチ —

近藤 誠司 著

A5上製 216頁 定価 3,520円 (本体 3,200円+税) ISBN 978-4-87354-755-8 C3037 (2022.11) ㊞

災害が頻発する現代社会において、虚心坦懐にいのちをまなごす真の防災教育学が要請されている。本書では、時流に乗ってノウハウやハウツウの断片を押し付ける防災教育のありかたを倫理的な観点から再検討し、人生におけるまなび合いの道程に防災学習を再定位する。豊富な事例を繕きながら理論と実践を往還する気鋭の書。



ポスト・コロナ禍時代のグローバル人材育成

—大学の国際教育のパラダイムシフト—

池田佳子 前田裕 藤田高夫 山本英一 本村康哲 ベネットアレキサンダー バイサウストン 岩崎千晶 古川智樹 プールオミッドサジヤド 共著
A5 206頁 定価 3,300円 (本体 3,000円+税) ISBN 978-4-87354-759-6 C3037 (2023.3) ㊞

コロナ禍を経て、国際教育やグローバル人材育成教育を取り巻く状況は一変した。本書では、その変化に対応すべく関西大学が取り組んだICTを活用する新しい教育の形を紹介する。ポスト・コロナ禍に向けて大学教育そのものの意義が問われる今、国際教育や人材育成に携わるもの全てにとって必読の書である。



食べ物の履歴書

吉田宗弘 著

A5 304頁 定価 3,300円 (本体 3,000円+税) ISBN 978-4-87354-754-1 C3039 (2022.9) ㊞

日々の献立に登場する身近な食べ物について、その由来や普及のプロセスを「履歴書」を書き記すようにさまざまな角度から平易に解説。うどんや豆腐がかつて高級食材であったこと、緑色のきゅうりが一般に広まったのが江戸時代末期であったことなど、ありふれた食べ物や献立の知られざる歴史を語る。



日仏対訳 フランス医療機関におけるアート

—アートとリスク感性—

亀井克之 著

A5 190頁 定価 3,850円 (本体 3,500円+税) ISBN 978-4-87354-765-7 C3070 (2023.3) ㊞

医療機関におけるアートの役割と効用とは—日本語とフランス語の両方でフランス病院におけるアートの導入とアートを活用した治療について講演に基づき解説。作品掲示から、デジタルアート、イリュミナル、アートセラピー、美術館でのデイケアまで。Version bilingue sur l'art dans les hôpitaux en France.



祈りの形にみる西洋近世

—茨木の銅版画シリーズ〈七秘跡と七美德がある主の祈りの七請願〉—

紙のみ

蜷川順子 著

A5上製 388頁 定価 5,610円 (本体 5,100円+税) ISBN 978-4-87354-766-4 C3071 (2023.3) ㊞

近世初期に宣教師がもたらした祈りの銅版画シリーズは、宗教戦争で顕在化した分裂を調整しながら、非ヨーロッパ世界へ拡張してきた西欧社会の、緊張と模索を伝えるものでもあった。本書は、このシリーズのイメージと、これを生みだした背景や伝統を徹底的に読み解き、当時の受容空間だけでなく現代にも連なる諸問題を探る。



謎解きとコミュニケーション

—語用論から西欧の知を考える—

山本英一 著

A5 170頁 定価 1,980円 (本体 1,800円+税) ISBN 978-4-87354-764-0 C3082 (2023.3) ㊞

語用論は場面の意味を考える。そこでは記号と意味の一意対応はなく、謎解きのように推論を通して最適の解に至る。一方、必然性と規則性を志向する西欧の学問は、既にある秩序から解を選ぶことはできても、混沌から結論が立ち現れることは許さない。本書は「謎解き」をキーワードに発話解釈と西洋の知の限界を考える。

JANE AUSTEN EMMA VOL. III



関西大学ジェイン・オースティン研究会 編著

B6 494頁 定価 7,590円 (本体 6,900円+税) ISBN 978-4-87354-763-3 C3097 (2023.3) ①

関西大学ジェイン・オースティン研究会による『エマ』の注釈書第I巻の刊行は、1994年。第II巻は、それ以後英米でのJane Austenの注釈版テキストがCambridge版ほか多数出版されたのを活かして2016年に刊行した。今回の第III巻は、新しい注釈者に加え、巻末に詳細な注と全3巻用の索引を付した。

関西大学東西学術研究所研究叢刊65



国際シンポジウム論文集 内藤湖南と石濱純太郎 近代東洋学の射程 — 内藤・石濱両文庫収蔵資料を中心に —



玄 幸子 編著

A5 254頁 定価 4,620円 (本体 4,200円+税) ISBN 978-4-87354-760-2 C3020 (2023.3)

2021年11月(於関西大学)開催の国際シンポジウム論文集。内藤文庫(関西大学図書館)・石濱文庫(大阪大学図書館)に収蔵される資料から内藤湖南・石濱純太郎を中心に据えて日本近代東洋学の歩みを見るというテーマでまとめられた。内容は内藤湖南論・石濱純太郎論ばかりでなく敦煌学・言語学・文学など多方面におよぶ。

関西大学東西学術研究所研究叢刊66



国際シンポジウム論文集 内藤湖南研究の最前線



陶 徳民 編著

A5 344頁 定価 5,170円 (本体 4,700円+税) ISBN 978-4-87354-761-9 C3021 (2023.3)

2021年11月関西大学で開かれた国際シンポジウム「内藤湖南と石濱純太郎—近代東洋学の射程」の内容の一部として、「内藤湖南における学問と政治」、「内藤湖南の学術・芸術とその周辺」と「内藤湖南の儒教思想と仏教観・神道観」をめぐる論考14編を収録。関西大学図書館内藤文庫所蔵資料をフルに活用し、新しい問題意識を示した意欲的論集。

関西大学東西学術研究所研究叢刊67



語彙力の獲得



沈 国威 著

A5 236頁 定価 5,170円 (本体 4,700円+税) ISBN 978-4-87354-767-1 C3081 (2023.3)

語彙力は、異なるもの・ことの名前をどれだけ言えるかより、同じもの・ことの異なる名前をどれだけ言えるかとする本書は、漢字文化圏における近代語の形成・交流という歴史的なまなざしから、語彙力の本質とその獲得法を分かりやすく説明している。議論はまた学習語彙の重要性と語彙力の獲得に貢献するシソーラスの役割におよぶ。

関西大学東西学術研究所研究叢刊68



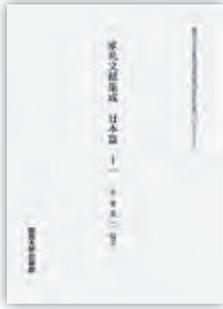
戦争と文学の交渉 — 古代から近現代へ —



増田 周子 編著

A4 182頁 定価 5,170円 (本体 4,700円+税) ISBN 978-4-87354-768-8 C3090 (2023.3)

2022年3月に開催された国際シンポジウム論集。終戦から77年、そしてロシアによるウクライナ侵攻に直面する今日、古代から近現代までの戦争を巡る文学を取り上げ、その意義を読み解く。壬申の乱から戦後日本まで、戦争の悲惨さや苦悩、そして人間愛を描いた数々の作品は、我々に何を問いかけるのか。



関西大学東西学術研究所資料集刊27-11
家礼文献集成 日本篇 十一

紙のみ

吾妻 重二 編著

B5上製 378頁 定価 7,150円(本体 6,500円+税) ISBN 978-4-87354-762-6 C3014 (2023.3)

朱子『家礼』関連文献影印シリーズの第11冊。写本でのみ伝えられた尾張藩儒、蟹養斎の関連著作を初めて翻刻、収載する。『居家大事記』『士庶喪祭考』『儒法棺槨式』『火葬辨』の4種で、山崎闇斎に始まる崎門派の儒教儀礼および『家礼』学の特徴を示す重要文献である。詳細な解説を付す。



哲学・心理学・宗教

存在・感情・政治

—スピノザへの政治心理学的接近—

河村 厚 著

A5上製 424頁 定価 4,070円(本体 3,700円+税)
ISBN 978-4-87354-556-1 C3010 (2013.3) ㊞



スピノザの倫理学と政治学を、コナトゥスと「感情の模倣」を中心的基軸に据えて現実主義の観点から考察。スピノザを、喜び、肯定、マルチチュードの哲学として評価する1960年代以降のひとつの潮流とは一線を画した解釈を提示。附論でディープエコロジーやコールバーグの道徳性発達理論とスピノザの関係について考察。

スピノザとフロイト

—「不信仰の同志」の政治思想—

河村 厚 著

A5上製 626頁 定価 6,600円(本体 6,000円+税)
ISBN 978-4-87354-750-3 C3010 (2022.3) ㊞

フロイトを中心にハイネ、ネグリ、シュトラウスという時代も思想も異なる4人の思想家達がスピノザから受けた影響および、彼らがスピノザ哲学をどのように解釈したかという問題を、それぞれのテキストの厳密な読解を通じて解明する。本書全体の通奏低音は、超越的なものなしに、よき倫理と政治が可能かというものである。

ドイツにおけるラディカルな敬虔主義

ハンス・シュナイダー 著／芝田 豊彦 訳

A5上製 290頁 定価 2,750円(本体 2,500円+税)
ISBN 978-4-87354-570-7 C3016 (2013.11) ㊞



ドイツキリスト教史の盲点ともいべき歴史現象が、厳密な考証に基づいて活写されている。ゲーテに影響を及ぼしたアルノルトをはじめ、ペーターゼン夫妻、ディッペル等、従来の敬虔主義を正しく理解するうえにも必須の人物や運動が、興味深く描かれている。詳細な原注に加え、訳注、人名および著作名索引も付した。

現実と落着

—無のリアリティへ向けて—

山本 幾生 著

四六判上製 436頁 定価 3,300円(本体 3,000円+税)
ISBN 978-4-87354-571-4 C3010 (2014.2) ㊞

現実はどうのように形成され、どこからどこへ向かい、どこに落ち着く処があるのか。本書はデイルタイとショーペンハウアーの哲学を読解し、現実の様々な連関が織糸のように交差する〈私〉の直中にその当処を求める。そして静が動を否定するように現実の渦動を否定する無が〈私〉の直中でリアルに息づいているのかと問う。

落着と実在

—リアリティの創出点—

山本 幾生 著

四六判上製 448頁 定価 4,180円(本体 3,800円+税)
ISBN 978-4-87354-668-1 C3010 (2018.2) ㊞

20世紀前半のドイツ・ナチ政権のもとで廃棄処分となったミッシュの『生の哲学と現象学』によるハイデガー批判を読解しながら、フッサールからハイデガーへの現象学に対してデイルタイからジンメルを介したミッシュへの生の哲学を〈流れの中に線を引く解釈学〉として掘起し、現実が落着する生のリアリティの創出点へ至る。

個人科学としての心理学

—分析から自証へ—

野村 幸正 著

四六判上製 384頁 定価 2,750円(本体 2,500円+税)
ISBN 978-4-87354-587-5 C3011 (2014.7) ㊞



心理学が学として確立するためには、現行の分析科学の持つ限界を認識し、それを代替、補完する科学が不可欠である。本書は東洋思想を基軸にして前概念的な生の世界、つまり体験の内容ではなく過程（純粹経験）に着目し、その自証体験、および内部観測から行為の理論を構築し、その普遍性を独自の実践を介して吟味してゆく。

人の顔または表情の識別について 下

—知覚論的諸問題—

池田 進 著

A5上製函入 418頁 定価 4,950円(本体 4,500円+税)
ISBN 978-4-87354-597-4 C3011 (2015.2) ㊞



「人の顔」を見て誰だかがわかるのか或る人の人となりが見分けられることなどの「なぜ」を心理学の立場で調べようとするときに向き合わなければならない難しさがどこにあるのかを、「見る」という心のはたらきの基本に立ち返ってあらためて考えてみた。主要な論点は、視覚の生態学的視点と、認知論的視点の比較考察である。

縄文鼻曲がり仮面

— 異形をめぐる顔学 人の顔または表情の識別について・補遺 —

池田 進 著

B5 180頁 定価 5,610円 (本体 5,100円+税)
ISBN 978-4-87354-749-7 C3011 (2022.3) ㊞



顔かたちを変形したり装飾したりする日本古来の文化遺跡がいくつもある。本書はそのうちの3題を取り上げた。その1は縄文時代の鼻曲がり型土製仮面、その2は歌舞伎の隈取、その3は京都の町屋に見る小屋根を飾る鍾馗像である。その様々を直接に観察して、視覚心理学的な考察をおこなった。鍾馗は全画像を一覧に総集した。

古新聖經殘稿 外二種 北堂本與滿漢合璧本

内田 慶市 李爽學 編

B5上製 364頁 定価 5,500円 (本体 5,000円+税)
ISBN 978-4-87354-686-5 C3014 (2018.12) ㊞



幻の漢訳聖書といわれた『古新聖經』の中でも特に重要な版本である北堂版とサンクト・ペテルブル版の二種を世界で初めて影印し翻字と解題を付した。漢訳聖書研究に極めて有益な資料であり、翻訳論あるいは近代中国語の形成を見る上でも貴重なものであり、漢訳聖書研究はこれによって新たな高みに向かうことになる。

意味論の内と外

— アクィナス 言語分析 メレオロジー —

加藤 雅人 著

A5上製 276頁 定価 2,860円 (本体 2,600円+税)
ISBN 978-4-87354-690-2 C3010 (2019.3) ㊞

アクィナスのエッセについて、従来の存在論的解釈に対して、論理学や言語分析の概念を用いた意味論的二区分という視点からの再解釈 (第一章～第四章、第十章)。中世のメレオロジー (全体-部分という概念枠) についての本邦初の論考 (第五章と第六章)。アクィナスの個体論、魂論についての論考 (第七章～第九章)。

歴史・地理

ドイツ奇人街道

森 貴史 細川 裕史 溝井 裕一 共著
四六判 350頁 定価 2,200円(本体 2,000円+税)
ISBN 978-4-87354-586-8 C3022 (2014.7) ㊦



ベアーテ・ウーゼ、サン＝ジェルマン伯爵、シュテルテベーカー、プレトリウス、ミュンヒハウゼン男爵、ルッツ・ヘック、ヴァイスハウプトなどの、日本ではこれまであまり語られることのなかったドイツの奇人たちの生涯と実像を、関連の深い都市とともに、新資料から明らかにする伝記集。奇人の町をたどるルート案内つき。

朝鮮における戦時「国語常用」 政策下の「毎日新報」

—「国語」教材および「国語」欄記事の紹介と解題—

熊谷 明泰 編著
A5 846頁 定価 7,920円(本体 7,200円+税)
ISBN 978-4-87354-613-1 C3021 (2015.3) ㊦



植民地下の朝鮮において、戦時下「国語常用運動」の要請により、朝鮮語新聞「毎日新報」に「国語(=日本語)」欄が設けられた。本書は、「国語」欄に掲載された各種の「国語」学習教材や一般記事を集めた資料集に解題を付したものである。本書により、「毎日新報」の「国語」欄の全体像を把握することができる。

東洋汽船と映画

松浦 章 笹川 慶子 著
A5 450頁 定価 3,410円(本体 3,100円+税)
ISBN 978-4-87354-641-4 C3021 (2016.9) ㊦



東洋汽船会社は浅野総一郎が創業したアジアを代表する汽船会社のひとつである。その東洋汽船が渋澤榮一らの貴賓会や大隈内閣の外客誘致政策の影響下に東洋フィルム会社を設立、それが後に谷崎潤一郎らを迎えた大正活映に発展する。製作配給興行における東洋汽船の新しすぎる試みは、亀裂を生みつつ、新たな地平を切り開く。

なにわの事もゆめの又ゆめ

—大坂城・豊臣秀吉・大坂の陣・真田幸村—

北川 央 著
四六判 180頁 定価 1,540円(本体 1,400円+税)
ISBN 978-4-87354-643-8 C3021 (2016.11) ㊦



豊臣秀吉が天下統一の拠点として築き、大坂夏の陣で落城した大坂城。本書は、本願寺八世蓮如の大坂御坊建立に始まる大坂城の歴史、今も残る大坂城の石垣や櫓・門などの古建造物の魅力、秀頼時代の豊臣家の実像と大坂の陣勃発の経緯、大坂の陣における真田幸村の活躍ぶりを、最新の研究成果に基づき、わかりやすく紹介する。

関西大学と大正ロマンの世界

—「夢の顔たち」の人脈ヒストリア—

浜本 隆志 著
四六判 264頁 定価 1,760円(本体 1,600円+税)
ISBN 978-4-87354-661-2 C3021 (2017.9) ㊦



関西大学の130年の歴史を振り返ってみると、それは一種の壮大なドラマであった。本書では千里山移転や「大学昇格」を成し遂げた大正ロマンの時代を中心に据えながら、大学を築いた先人たちの人脈相関図を詩情豊かに再現してみた。多くの知られざるエピソードを交え、興味深く読んでもらえる「関西大学物語」である。

飛鳥藤原京の山河意匠

—地形幾何学の視点—

木庭 元晴 著
B5 248頁 定価 3,960円(本体 3,600円+税)
ISBN 978-4-87354-677-3 C3021 (2018.3) ㊦



飛鳥時代の仏塔や天文台そして藤原宮は、推古期に設置された天の北極(真北)軸や大和三山の太極(垂心)に精緻に配置されていた。隣接する飛鳥川と高取川の付け替えは斉明期に施行された。記紀やこれまでの研究では全く触れられてこなかった歴史的事実を精緻な地形情報と考古遺跡の分布からはじめて明らかにした。

越境の野球史

—日米スポーツ交流とハワイ日系二世—

森 仁志 著
四六判 296頁 定価 2,090円(本体 1,900円+税)
ISBN 978-4-87354-679-7 C0021 (2018.7) ㊦



ハワイの日系人最強チーム「朝日」の選手たちが、日米の架け橋になってプロ野球の誕生から発展期にはたした役割を描く。「朝日」出身の若林忠志、銭村健一郎、ウォーリー与那嶺……太平洋を渡る野球人たちのグローバルな生き方を活写。ハワイ(布哇)を基点に「日米」野球交流の歴史を「日布米」交流史として書き換える。

もう一つの内藤湖南像
— 関西大学内藤文庫探索二十年 —

陶 徳民 著
B5 412頁 定価 4,400円 (本体 4,000円+税)
ISBN 978-4-87354-728-2 C3021 (2021.3) ㊞



内藤湖南の学問的・政治的営みと特徴について、「『欧西と神理相似たる』日中の学問方法論発掘と顕彰」、「東洋『美術』の精粹たる書画への嗜好と推賞」および「アジアをめぐる欧米列強との競合と西洋文明を模倣した近代日本への反省」という三方面から解明。180余点の写真でその生涯事蹟を再現、関連の人物小伝と書物の序跋も付録。

19世紀スペインにおける
連邦主義と歴史認識
— フランシスコ・ピ・イ・マルガルの生涯とその思想 —

菊池 信彦 著
A5上製 248頁 定価 4,510円 (本体 4,100円+税)
ISBN 978-4-87354-745-9 C3022 (2022.1) ㊞

「アナーキズムの父」プルードンの思想的影響を受け、スペイン第一共和政期（1873年）には大統領として連邦共和制を宣言したフランシスコ・ピ・イ・マルガルの連邦主義思想を、生涯にわたる歴史家としての活動とともに論じた意欲作。彼の連邦主義思想を支えた多元的国民史認識という、もうひとつの近代国民史認識を描き出す。



社会科学 社会科学総記

辰巳経世著作集

鱒坂 真 編

A5 366頁 定価 2,310円(本体 2,100円+税)
ISBN 978-4-87354-682-7 C3030 (2019.1) ㊞

関西大学を卒業後、治安維持法違反による検挙にも屈せず、病身を押し、奴隷制度の研究、日本ファシズムへの警告、日本で最初に『資本論』全巻の解説書等を著した辰巳経世。のちに未発表の原稿が発見され、「戦前の出版物を保存する会」によって上梓された。本書は、辰巳経世が残した渾身の力作をまとめた著作集である。

Japan's Economic Relations with Africa in a Historical Perspective

— A Study of The Pre-War Japanese Consular Reports —

北川 勝彦 著

※全て欧文で記載

A5 160頁 定価 2,420円(本体 2,200円+税)
ISBN 978-4-87354-712-1 C3030 (2020.2) ㊞

日清・日露戦争の勝利からアジア・太平洋戦争の敗北前夜にいたる帝国日本の経済外交とアフリカ植民地に対する経済戦略を考察し、第二次世界大戦後の日本の国際関係における独立アフリカの位置づけを展望する。また、日本とアフリカの経済関係の展開を歴史的に考察し、両大戦間期と戦後の世界経済史研究に新たな地平を開く。

大学生、福島を聴く

— 東日本大震災と「心の復興」—

橋口 勝利 著

A5上製 304頁 定価 2,640円(本体 2,400円+税)
ISBN 978-4-87354-715-2 C3030 (2020.3) ㊞

東日本大震災から9年。福島は震災記憶の風化と農産品の風評被害に直面する。福島第一原発事故の被害に苦しむ住民、復興へ尽力する自治体職員や地域住民。大学生たちは、福島の人々と触れ合うことで、自らの認識を変え、自分たちの出来ることを探し出す。それは思い込みで福島を遠ざけるのではなく、ありのままを伝えることである。

グローバル化を規律する MoneyとJusticeの関係について

原田 輝彦 著

A5 272頁 定価 3,190円(本体 2,900円+税)
ISBN 978-4-87354-720-6 C3030 (2020.3) ㊞

本書は貿易構造高度化と国際金融システム論をめぐるグローバル化の進展、今日のビジネス環境、多国籍企業の特徴や、グローバルビジネスと地域経済の関係を多面的に論じる。また、国内法と国際法の変容にも言及しており、公正な貿易の発展を支える国際金融制度構築と歴史的な文脈を明らかにする。

戦後日本経済と政策金融

— 日本政策投資銀行を事例にして—

原田 輝彦 著

A5 116頁 定価 2,090円(本体 1,900円+税)
ISBN 978-4-87354-735-0 C3030 (2021.3) ㊞



金融は経済を支える役割を担っており、資金需要者に一定の対価徴求と引き換えて提供することで経済が成り立つことが知られている。政府金融機関である日本政策投資銀行が創設時から今日まで、民間実体経済に対する資金供給＝金融経済の大きな担い手として、政府による投融資活動を果たすことで日本経済に大きく寄与したことを解説する。

アカデミアが挑むSDGs

— 関西大学の多様な取り組み—

KANDAI for SDGs 推進プロジェクト 編

A5 282頁 定価 1,980円(本体 1,800円+税)
ISBN 978-4-87354-748-0 C1000 (2022.3) ㊞

危機に対する社会の脆弱性は世界の格差と結びついており、SDGsの重要性を物語る。若い世代の人たちが世界の現状を知り、どのような社会を作っていくのかを考える場が大学である。関西大学はいままで、多くの自治体や企業とSDGsに係わる活動をしてきた。本書は、SDGsの課題解決に対する関西大学ならではの取り組みを紹介する。

社会科学
政治

現代日本の政治思想的考察

土倉 莞爾 著

A5 374頁 定価 3,080円 (本体 2,800円+税)
ISBN 978-4-87354-614-8 C3031 (2015.3) ㊞

本書は、現代における日本の政治を一定の角度から論じたものである。すなわち、主として、「政権交代」と「橋下旋風」をめぐる、現代日本の選挙政治について論じている。さらに、social capital 論と、安保闘争期の清水幾太郎を中心に、ジャーナリズムと知識人についても、焦点をあてて論じている。

ポピュリズムの現代

— 比較政治学的考察 —

土倉 莞爾 著

A5 400頁 定価 4,400円 (本体 4,000円+税)
ISBN 978-4-87354-695-7 C3031 (2019.3) ㊞

現代はポピュリズムの時代である。ポピュリズムの様相は国により異なるが、デモクラシーにとって重要なのは、それらひとつひとつを解きほぐし対応していくことであろう。そのような視角から、フランスの大統領選挙を始めとする近年の選挙動向、イギリスのBrexit、日本の橋下徹と大阪維新の会を題材とし、個別に研究する。

西ヨーロッパ・キリスト教民主主義の研究

土倉 莞爾 著

A5 454頁 定価 4,070円 (本体 3,700円+税)
ISBN 978-4-87354-734-3 C3031 (2021.3) ㊞

フランスを中心として、西ヨーロッパのキリスト教民主主義の歴史をたどる研究書。キリスト教民主主義政党は、第二次世界大戦直後、西ヨーロッパの多くの国で隆盛を極めたが、1970年代頃から衰微していった。「キリスト教民主主義」はなぜ終わったのか。20年間に亘って執筆した論文と書評を一冊にまとめた「ビフォーア・リベラル」な書。

アメリカが生む／受け入れる難民

大津留(北川) 智恵子 著

A5 296頁 定価 2,310円 (本体 2,100円+税)
ISBN 978-4-87354-639-1 C3031 (2016.9) ㊞



移民の国と言われるアメリカは数多くの難民を受け入れてもいる。その中にはアメリカが始めた戦争により生まれた難民も含まれる。難民化の原因を作ったアメリカにおいて、再定住した難民と地域社会との間に築かれる新たな関係を、インドシナ戦争時のモン族難民とイラク戦争時のイラク難民への聞き取り調査をもとに分析する。

政府—NPO 関係の理論と動向

— 日・英・米における
パートナーシップ政策を中心に —

廣川 嘉裕 著

A5 156頁 定価 1,870円 (本体 1,700円+税)
ISBN 978-4-87354-659-9 C3031 (2017.7) ㊞



NPO は公共サービスの供給、民主主義の活性化において大きな役割を果たす可能性があるが、そのためには政府・行政との適切な関係の構築が不可欠である。そこで本書では、日本、イギリス、アメリカにおける理論研究や実際の政策動向をもとに、NPO が独自の政治的・社会的機能を可能な限り発揮するための方策を探る。

わかりやすい刑罰のはなし

— 死刑・懲役・罰金 —

永田 憲史 著

四六判 242頁 定価 1,650円(本体 1,500円+税)
ISBN 978-4-87354-532-5 C3032 (2012.2) ①



光市事件の最高裁判所の判決で死刑の基準は変わったのか、どこの刑務所に入るかはどうか決まるのか、懲役の受刑者は月にいくらもらえるのか、罰金を払わないとどうなるのか、罰金と交通反則金は違うのか。意外に知られていない刑罰を言い渡す手続きや刑罰の仕組み60テーマを「ですます調」でわかりやすく解説。

財産的刑事制裁の研究

— 主に罰金刑と被害弁償命令に焦点を当てて —

永田 憲史 著

A5上製函入 490頁 定価 4,070円(本体 3,700円+税)
ISBN 978-4-87354-568-4 C3032 (2013.10) ②



罰金刑・没収刑・被害弁償命令・刑事司法における手数料などに関するアメリカ・ドイツ・ニュージーランドの制度・運用・理論を素材に、財産を対象とする刑事制裁について包括的に考察する。罰金刑の目的について新たな提案を行い、量定方法に関する議論に新風を吹き込む。刑罰論に新たな視座を提供する注目の理論書。

法益保護によって刑法は正当化できるか?

ギュンター・ヤコブス 著 / 川口 浩一 飯島 暢 共訳

A5上製 106頁 定価 2,200円(本体 2,000円+税)
ISBN 978-4-87354-594-3 C3032 (2015.2) ③



本書においてヤコブスは、法益保護によって刑法を正当化しようとする試みをその歴史背景をも含めて批判し、環境犯罪、動物保護、「アウシュヴィッツの嘘」、信仰侮辱、パターナリズム(安全ベルト・薬物犯罪・囑託殺)等の刑法的規範の正当性に関して代替モデルを提示する。社会損害論に関する論文も付録として収録した。

あなたは加害者? それとも被害者?

尾島 史賢 編著

A5 118頁 定価 990円(本体 900円+税)
ISBN 978-4-87354-683-4 C0032 (2016.3) ④



法律知識を持たないまま軽率な行動をとれば、事件の加害者や被害者になることがある。本書は事例を通して、誰もが巻き込まれる可能性のあるトラブルから身を守る法律知識を、現役弁護士が大学生に向けてわかりやすく解説。お酒をめぐる法律問題など、私生活から恋愛、インターネット、労働、破産、選挙活動まで多様な分野を収録。

法的思考のススメ

— 大人になる君に知ってもらいたいこと —

尾島 史賢 著

A5 142頁 定価 1,100円(本体 1,000円+税)
ISBN 978-4-87354-739-8 C0032 (2021.10) ⑤

18歳で「大人になる君」に知ってもらいたいこと。アルバイトや就職活動など、トラブルが生じがちな事柄について、弁護士が法的思考(Legal Mind)をもとにわかりやすく解説する。日常生活、住まい、消費者、恋愛、お酒、交通事故、薬物……様々な分野をLegal Mindで読み解く本書は「君」の必携書!

シチリア海法序説

栗田 和彦 著

A5上製 326頁 定価 2,970円(本体 2,700円+税)
ISBN 978-4-87354-680-3 C3032 (2018.9) ⑥

文明の十字路口・中世地中海交易の要衝シチリアの拠点港メッシーナとトラパニに残る往時の海法を逐条的に分析・検討し、その実像に迫り、スペイン・ヴァレンシア海法との関連性やメッシーナ海法とアマルフィ海法(世にいうFoscarini本)との類似性など、中世イタリアないし地中海海法史研究上の意義・重要性を解明する。

インドの憲法〔新版〕

— 「国民国家」の困難性と可能性 —

孝忠 延夫 浅野 宜之 著

A5上製 356頁 定価 3,520円(本体 3,200円+税)
ISBN 978-4-87354-681-0 C3032 (2018.12) ⑦

国民国家のあり方が問われる今、29の州と7の連邦直轄領から成るインドは、その憲法で22の公用語を定め、「多様性のなかの統一」を目指してきた国として知られている。本書は、インドの基本的あり方を詳細に規定するインド憲法を紹介・分析し、その全文和訳(2016年第101次改正までを含む)を行うものである。

日本貿易の発展と構造

奥 和義 著

A5上製 312頁 定価 3,520円(本体 3,200円+税)
ISBN 978-4-87354-544-8 C3033 (2012.3) ㊞



日本の近代工業化の開始期から現在にいたる貿易の発展過程を国際貿易・国際通貨制度の変遷と関連づけて分析し、その構造的特質を明らかにする。それは、標準化された国際経済学のツールを使用し、日本の過去120年余りの経済発展を工業化期、重工業化期（第二次産業革命期）、ポスト工業化期に区分することによってなされる。

両大戦間期の日英経済関係の諸側面

奥 和義 著

A5上製 154頁 定価 3,850円(本体 3,500円+税)
ISBN 978-4-87354-631-5 C3033 (2016.3) ㊞



1930年代の日英経済関係は満州事変以降、直線的に政治的・経済的に緊張したわけではなく、政治的・経済的な協調関係の再構築が試みられる一方、世界の諸地域で対抗関係も見られるようになり、国際政治経済の情勢変化の中で多様な可能性が模索されていた。それは現代日本をとりまく国際政治経済情勢を考察する上で示唆に富む過去の鏡になる。

均衡経路の不安定性

佐藤 真人 著

A5上製 268頁 定価 3,850円(本体 3,500円+税)
ISBN 978-4-87354-574-5 C3033 (2014.3) ㊞



いつか来る好況（あるいは不況）、しかしそれは、いつ来るのだろうか？ そもそも好況と不況の交替、景気循環はなぜ起るのだろうか？ 本書は、このような疑問を出発点に、景気循環を資本主義に付物の経済現象と見て、価格による調整機構との関係でその原因を理論的に追究し、現実を観察している。

戦後日本の資本利益率格差

佐藤 真人 著

A5上製 380頁 定価 6,050円(本体 5,500円+税)
ISBN 978-4-87354-635-3 C3033 (2016.3) ㊞



資本主義的調整機構として広く受け入れられている価格機構、あるいは「需要と供給の法則」は、利潤率格差と資本移動を考慮しないと不十分との観点から、戦後日本の利潤率、資本利益率の資本金規模別、及び産業部門間格差を資本蓄積との関係で観察、分析し、資本主義的調整過程の順調でないことを主張。

現代アメリカ国債管理政策史

池島 正興 著

A5上製 448頁 定価 3,850円(本体 3,500円+税)
ISBN 978-4-87354-593-6 C3033 (2014.12) ㊞



本書は、社会の高齢化に起因する、国債への需要の変化が国債管理政策の新展開を不可避とさせ、また、その結果として、1970年代以降、国債の主たる役割が「営利企業のための国債」から「社会保障制度の一環としての国債」へと転換される、現代アメリカ社会の苦難の歴史を明らかにする。望まれるべき国債制度をも考察する。

経済発展と交通・通信

関西大学経済史研究会 編

A5上製 260頁 定価 2,750円(本体 2,500円+税)
ISBN 978-4-87354-591-2 C3033 (2015.1) ㊞



本書は、グローバル経済史の研究を志す専門家のための論文集である。近年、グローバル経済の発展の中で交通・通信の役割に経済史家は注目している。新世紀に入り、難題を伴いながらも、新たな展開を示しつつあるグローバル経済を解明する本格的な専門書として、社会人、学生必読の一書である。

競争戦略と経営システムの構築

大倉 雄次郎 著

A5上製 380頁 定価 3,850円(本体 3,500円+税)
ISBN 978-4-87354-602-5 C3034 (2015.3) ㊞



イノベーションと経営システムの視点から先進的企業（トヨタ・パナソニック・キヤノン・京セラ・コマツ・セコム・伊藤園・日清食品・スズケン）と連携法人（ベトナム簿記普及推進協議会・船場経済倶楽部・辻製油・ナルスコーポレーション・大分県）の競争戦略を詳述。無形資産（のれん等）・包括利益の財務分析に関する話題の書。

新たなリスクと中小企業
(Les PME face aux nouveaux risques)
— 日仏シンポジウムの記録 —

亀井 克之 編著
A5 178頁 定価 2,090円 (本体 1,900円+税)
ISBN 978-4-87354-632-2 C3034 (2016.3) ㊞



中小企業をテーマにフランス大使館が主催・後援した2つの日仏シンポジウムの記録。第一部「新たなリスクと中小企業」日仏の共通点と相違点は何か、各分野の専門家が討論。第二部は「中小企業経営者の健康・メンタルヘルス」見落とされてきたテーマに光をあてた討論。日本語112頁・フランス語50頁。Livre Franco-Japonais sur les PME.

Risk Management
— Basic Theory and Case —

亀井 克之 著 ※全て欧文で記載
A5 82頁 定価 1,100円 (本体 1,000円+税)
ISBN 978-4-87354-706-0 C3034 (2019.10) ㊞

「決断力にみるリスクマネジメント」をテーマとした英文解説書。(1)リスクマネジメント理論の概説と、(2)タイレノール事件、ルノー・エスパスの開発、事業承継と老舗、健康経営、企業の自然災害対策、マラソン大会の安全管理など豊富な事例による分析から構成された一冊。関係者へのインタビュー2編を付す。

**日本のリスクマネジメント理論の
現代的意義**
— 亀井利明最終講演の記録 —

羽原 敬二 亀井 克之 編著
A5 182頁 定価 1,650円 (本体 1,500円+税)
ISBN 978-4-87354-640-7 C3034 (2016.10) ㊞



日本におけるリスクマネジメント理論の始祖・亀井利明(2016年1月没)が、2015年に行ったユーモアと毒舌あふれる最終講演の記録。羽原敬二によるリスクマネジメント概説や亀井利明の研究の歩みなども収録して、様々な角度から日本のリスクマネジメント理論の過去・現在・未来を学習できる書物。

1930年代における日本の金融政策
— 時系列分析を用いた定量的分析 —

内藤 友紀 著
A5上製 168頁 定価 2,860円 (本体 2,600円+税)
ISBN 978-4-87354-664-3 C3033 (2017.10) ㊞

1930年代の日本における拡張的な金融政策および、それに付随する為替相場低位安定化の政策効果や実体経済への影響について、さらには信用乗数、貨幣需要関数、期待インフレ率、金利の期間構造、シニョレッジなど、当該期の金融政策を取り巻く経済環境について、経済時系列データを用いた計量分析によって明らかにする。

経営学史学会 著書部門学会賞受賞
フレデリック・テイラーとマネジメント思想

廣瀬 幹好 著
A5 294頁 定価 3,960円 (本体 3,600円+税)
ISBN 978-4-87354-707-7 C3034 (2019.10) ㊞

F. W.テイラーが提唱したScientific Managementは、科学的管理法あるいはテイラー・システムとして知られている。しかし、テイラー・システムの基礎をなす彼のマネジメント思想についての検討は、十分ではない。本書は、マネジメント思想史におけるテイラーの位置を明確化しようと試みている。

日本図書館協会選定図書

大阪の笑い

井上 宏 著

四六判 250頁 定価 1,430円(本体 1,300円+税)

ISBN 978-4-87354-322-2 C0036 (1992.7) ①



大阪では古くから笑いの芸能が発達し、今日も盛んなのはなぜなのか。人々に楽しみを与え、人間関係を円滑にし、幸せと健康をもたらす笑いの効用とは何なのか。人間にとっての笑いの重要性を説きながら、大阪人の生活態度や価値観と笑いの関係について分析。特に漫才の笑いや吉本新喜劇についての分析・考察はユニーク。

日本図書館協会選定図書／第3回日本笑い学会賞大賞受賞

笑いの力

— 笑って生き生き —

井上 宏 著

四六判 294頁 定価 1,540円(本体 1,400円+税)

ISBN 978-4-87354-505-9 C0036 (2010.12) ①



人間は誰もが「笑いの力」を持っているが、その力の可能性については十分な認識を持ってこなかった。現在の閉塞感を突破していくためには、何よりも個人と社会の元気が必要だ。自分を笑い飛ばし、未来に向けての新しいエネルギーを汲みだす「笑いの力」について認識しなおし、その力の効用について訴える。

笑いを学問する

— 研究の歩みを回顧して —

井上 宏 著

A5 288頁 定価 1,540円(本体 1,400円+税)

ISBN 978-4-87354-744-2 C0036 (2021.12) ①



大阪の商家で育った著者は、テレビ局勤務の体験を生かしての「メディア研究」からスタートし、漫才研究から「大阪の文化」を論じ、日本笑い学会を創立して「笑い学研究」を志す。大阪府立上方演芸資料館の設立に関与して館長にも就任。著者が関与してきた数々の事業と研究を回顧し、「笑いとユーモア」の働きを解明する。

不透明社会の中の若者たち

— 大学生調査25年から見る過去・現在・未来 —

片桐 新自 著

A5 278頁 定価 2,200円(本体 2,000円+税)

ISBN 978-4-87354-585-1 C0036 (2014.7) ②



東日本大震災と福島第一原発事故後の、先行きが不透明になった日本社会を大学生たちはどう捉え、どう生きていこうとしているのか。昭和の終わりから四半世紀にもわたって、大学生調査を継続してきた気味の社会学者が、日本社会の過去、現在、未来を、若者の意識と価値観から見通す渾身の一冊。

時代を生きる若者たち

— 大学生調査30年から見る日本社会 —

片桐 新自 著

A5 318頁 定価 2,200円(本体 2,000円+税)

ISBN 978-4-87354-705-3 C3036 (2019.9) ①



まだ昭和の時代だった1987年から30年間5年おきに7回、大学生の価値観を調査してきた貴重な社会学研究の集大成。時代の影響を受け、同じ大学生とは言っても、その価値観は大きく変わってきたことが端的に指摘されている。大学生を通して見る日本社会論として読むことができる価値のある一冊。

続・青春の変貌

岩見 和彦 編著

四六判 321頁 定価 2,750円(本体 2,500円+税)

ISBN 978-4-87354-596-7 C0036 (2015.2) ①



青春とは何だろうか。それはいつの時代でも誰にでも訪れる青年期であると同時に、その時代の世相を映し出す鏡でもある。フォークソング、ママさんバレー、ブルトレイン、学生街の住人、やおい文化、ブログ、パンクロック……。過去から現代まで50年間にわたる様々な青春の群像を、現代社会論の視点で綴った文化社会学論集。

ソーシャルワーク実践における 社会資源の創出

— つなぐことの論理 —

狭間 香代子 著

A5 184頁 定価 2,750円(本体 2,500円+税)

ISBN 978-4-87354-623-0 C3036 (2016.2) ②



社会資源創出のためにソーシャルワーカーが実践で担う役割に関する質的調査を通して、「つなぐ」というソーシャルワーク機能の重要性が導き出された。「つなぐ」機能の基盤で働く論理と理論的知識の基底にある論理との相違に焦点化することで、ソーシャルワーク実践における「つなぐことの論理」について新たな視座から論じている。

現代社会の福祉実践

黒田 研二 狭間 香代子 岡田 忠克 編著
A5 216頁 定価 1,650円 (本体 1,500円+税)
ISBN 978-4-87354-651-3 C3036 (2017.3) ㊞ 

2000年以降の一連の福祉改革に対して、福祉実践はどのよう
うに向き合っていくのか。また、その背景にある理念をど
のように考え、これまでの実践をどのように省みなければ
ならないのか。本書では、子ども、高齢者、コミュニティ
における福祉実践を通して、そのひとつの答えを挑戦的に
論述したものである。

ポスト・ソーシャル時代の福祉実践

黒田 研二 狭間 香代子 福田 公教 西川 知亨 共編
A5 186頁 定価 1,650円 (本体 1,500円+税)
ISBN 978-4-87354-731-2 C3036 (2021.3) ㊞

激動の社会状況のなかで、人と人とのつながりに関する楽
観論と悲観論が併存するポスト・ソーシャル時代において、
社会福祉はどこへ向かうのだろうか。「こころ・からだ・
くらし」の福祉を探究する人間健康学の観点から、現世代
から次世代へと継承・展開していくポスト・ソーシャル時
代の福祉実践の可能性について考察するものである。

メディア スポーツ 20世紀

— スポーツの世紀を築いたのは、スポーツかメディアか —

黒田 勇 著
A5 284頁 定価 1,650円 (本体 1,500円+税)
ISBN 978-4-87354-730-5 C3036 (2021.3) ㊞

20世紀の身体とスポーツが、いかに誕生し成長していった
のか。「マラソンの誕生」から「ヒマラヤ征服」まで、20
世紀前半を彩ったスポーツイベントに焦点をあてる。ス
ポーツイベントの誕生と発展には、新聞やラジオといった
メディアが大きな役割を果たし、初期から鉄道会社の郊外
開発や宗教的な情熱も関わっていたことを明らかにする。

〈体育会系女子〉のポリティクス

— 身体・ジェンダー・セクシュアリティ —

井谷 聡子 著
A5 268頁 定価 2,200円 (本体 2,000円+税)
ISBN 978-4-87354-732-9 C3036 (2021.3) ㊞

強靱な身体と高度な技能、苦しい練習を耐える精神力や自
律が求められるエリートアスリートの世界。だが日本の女
子選手は「女らしくしろ」「女になるな」と、男子選手な
らば経験することのない矛盾した要求を突きつけられる。
「体育会系女子」の言説と、アスリートとしての誇りとジェ
ンダー規範の衝突に迫るスポーツとジェンダー研究書。

初期シカゴ学派の人間生態学の展開

— 総合的社会認識の社会学 —

西川 知亨 著
A5 326頁 定価 4,400円 (本体 4,000円+税)
ISBN 978-4-87354-742-8 C3036 (2021.10) ㊞ 

人と社会のダイナミズムを扱える、総合的社会認識の社会
学が求められている。今や古典の社会理論とされる初期シ
カゴ学派の「人間生態学」を賦活させ、激動の社会状況に
おける問題把握や社会的コントロールの方法を探る。社会
学史研究を通じて、現代の社会や社会福祉の分析に活かす
ことを目指した意欲的な書。

災害報道とリアリティ

— 情報学の新たな地平 —

近藤 誠司 著
A5上製 218頁 定価 2,860円 (本体 2,600円+税)
ISBN 978-4-87354-747-3 C3036 (2022.2) ㊞

災害が頻発する現代社会において、真価が問われる災害報
道は、いまだ課題山積の状態にある。この閉塞をいかにし
て打ち破ればよいのか。本書では、情報とは異なる水準に
あるリアリティの観点から、緊急報道・復興報道・予防報
道のあり方をトータルに見つめ直す。豊富な事例を繕きな
がら、理論と実践を往還する待望の書。

構成主義パラダイムと学習環境デザイン

久保田 賢一 著

A5 200頁 定価 2,090円 (本体 1,900円+税)

ISBN 978-4-87354-308-6 C3037 (2000.3) ㊞



情報技術が急速に発達し、社会が大きく変わろうとしている中で、教育のあり方が問われている。本書は、構成主義というポスト近代のパラダイムを軸に、マルチメディア時代に適合した学習環境を構築していく理論的基礎を提供する。また、インターネットやテレビ会議などを取り入れた高等教育における教育実践を紹介する。

大学生の学びを育む学習環境のデザイン

— 新しいパラダイムが拓く

アクティブ・ラーニングへの挑戦 —

岩崎 千晶 編著

A5 410頁 定価 2,200円 (本体 2,000円+税)

ISBN 978-4-87354-575-2 C3037 (2014.3) ㊞



本書は、アクティブ・ラーニングを主軸とした大学生の能動的な学びを育むための学習環境のデザインを構築するための入門書である。理論編では、アクティブ・ラーニングの背景、理念、具体的な手法、学習支援、評価方法について述べ、実践編では演習、多人数講義、ICTの活用、社会連携の視点から授業実践を紹介する。

大学生の学びを育むオンライン授業のデザイン

— リスク社会に挑戦する大学教育の実践 —

岩崎 千晶 編著

A5 260頁 定価 2,530円 (本体 2,300円+税)

ISBN 978-4-87354-746-6 C3037 (2022.1) ㊞

本書は、高等教育におけるオンライン授業を設計するための入門書である。講義、実験、実習、外国語を「リアルタイム・オンデマンド・ハイブリッド型のオンライン授業」でどう実施しているのか。教育工学者による「理論編」と大学教員19名による「授業実践」で構成された、理論と実践の往還を目指した一冊となっている。

留学生教育の新潮流

— 関西大学留学生別科の実践と研究 —

カイト 由利子 監修／古川 智樹 編著

A5 210頁 定価 2,750円 (本体 2,500円+税)

ISBN 978-4-87354-603-2 C3037 (2015.3) ㊞



本書は、2012年に開設した関西大学留学生別科におけるICTを利活用した教育実践と研究の報告である。学習管理システムやeポートフォリオ、その他ICTツールは、留学生の学習・生活の基盤となり得るのか。入学前の学習との連結、多様なニーズへの対応など教育のグローバル化に伴う様々な課題への取り組みを紹介する。

新課程 博物館学ハンドブック 1

米田 文孝 森 隆男 山口 卓也 編著

A4 180頁 定価 1,650円 (本体 1,500円+税)

ISBN 978-4-87354-615-5 C3037 (2015.3) ㊞



博物館学芸員資格取得のための大学開講科目、博物館概論、博物館経営論、博物館資料論、3教科のハンドブック。学芸員を目指す大学生にわかりやすく、基礎的な事項から解説する。第一線の現場に立つ学芸員、最先端の研究・教育に取り組む気鋭の研究者たちが執筆。コンパクトで取り扱いやすい教科書、副読本である。

新課程 博物館学ハンドブック 2

米田 文孝 森 隆男 山口 卓也 編著

A4 176頁 定価 1,650円 (本体 1,500円+税)

ISBN 978-4-87354-616-2 C3037 (2015.3) ㊞



博物館学芸員資格取得のための大学開講科目、博物館展示論、博物館資料保存論、博物館情報・メディア論、博物館教育論、4教科のハンドブック。基礎的な事項から解説する。第一線の現場に立つ学芸員、最先端の研究・教育に取り組む気鋭の研究者たちが執筆。コンパクトで取り扱いやすい教科書、副読本である。

新課程 博物館学ハンドブック 3

米田 文孝 森 隆男 山口 卓也 編著

A4 112頁 定価 1,320円 (本体 1,200円+税)

ISBN 978-4-87354-649-0 C3037 (2017.3) ㊞



博物館学芸員資格取得のための大学開講科目、博物館実習のハンドブック。館園実習の基本から実務までを、第一線の現場に立つ学芸員、最先端の研究・教育に取り組む気鋭の研究者たちが執筆した。館園の実習展示会開催に必要な手順と実務を網羅している、コンパクトな教科書・副読本である。

持続的な学びのための大学授業の理論と実践

安藤 輝次 著

A5 188頁 定価 1,980円 (本体 1,800円+税)
ISBN 978-4-87354-667-4 C3037 (2018.2) ㊞

人工知能やIoTが進展する中で、学生が学びを持続的に展開する大学授業が求められている。アクティブ・ラーニングだけでは、学生に深い思考は育たない。ルーブリックの学習促進機能を活用して、学びの出来・不出来を明らかにし、不出来を出来るようにする“フィードバック”の方法・技術にその解決の方途がある。

大学教育の国際化への対応

池田 佳子 著

A5 120頁 定価 1,980円 (本体 1,800円+税)
ISBN 978-4-87354-704-6 C3037 (2019.3) ㊞

日本の大学の国際化は、必須課題である。従来の「大学」の学生プロフィールを考え直し、海外の高等教育機関と留学生を争奪する戦略が鍵となる。日本人学生も、国外の基準を見据えた変革を進める大学を志向する傾向にあり、大学が自力で進める、キャンパスと教育の国際化のプロセスは安易でない。本書は具体例を交えた状況レポートである。

大学での学び

— その哲学と拡がり —

田中 俊也 著

A5上製 178頁 定価 2,200円 (本体 2,000円+税)
ISBN 978-4-87354-725-1 C3037 (2020.10) ㊞

「大学での学び」に要求される本質的な特徴を「学びの哲学」として捉え、問題解決、協同、創造、感動をキーワードにして詳述した。そうした「哲学」を元に運営されたゼミで学び、現在は様々な領域で活躍している18名の卒業生たちの「実践」を、エビデンス・データとして紹介。「大学での学び」がどのように拡がっているかを検証した。

自然科学

古代の中国文化を探る — 道教と煉丹術 —

今井 弘 著

A5 254頁 定価 2,200円 (本体 2,000円+税)

ISBN 978-4-87354-529-5 C3040

(2011.11) ©



古代の漢民族は命の大切さに目覚め、種々の養生術を考案した。道教はこれを受け継いで不老不死の神仙（最高位の仙人）になることを理想とし、神仙思想に陰陽五行・十干十二支・易学等の理論を取り入れて神仙になる丹薬作りを試みた。これが煉丹術（いわゆる錬金術）の始まりである。本書は、その内容を簡易に解説したものである。

なぜビタミンCは健康にいいのか

小幡 斉 著

A5 250頁 定価 1,980円 (本体 1,800円+税)

ISBN 978-4-87354-595-0 C3043

(2015.1) ©

一般の動物はビタミンCを生合成するが、人と猿は生合成が出来ないため、ビタミンCが不足すると免疫力が低下し、老化が早まり病気にかかり易くなる。そこで、高濃度ビタミンCを摂取し続けていれば、美容効果、抗老化作用と色々な病気（動脈硬化、風邪、脳卒中、心筋梗塞、ガン、白内障、認知症など）の予防と治療に効果を発揮する。



工学・工業

技術の文化史Ⅱ

— 匠の技と美 —

下間 頼一 緒方 正則 編著

B5 276頁 定価 3,630円 (本体 3,300円+税)

ISBN 978-4-87354-611-7 C3050

(2015.3) ㊦



広く世界を実地調査し、水道橋・鉄・らせん揚水機等水技術・たたらと日本刀・イスラム装飾タイルの起原を探究した。ケルト文化やヒッタイト文化を見聞し、欧州最高峰モンブランに登頂し、緑のアラビアを実地調査し、技術の発祥と発展を14人の著者が分担解明した。世界各地の水彩スケッチや天工開物等のコラムを挿入した。



芸術・生活

第6回表象文化論学会賞奨励賞

アメリカン・リアリズムの系譜

—トマス・エイキンズからハイパーリアリズムまで—

小林 剛 著

四六判上製 268頁 定価 2,860円 (本体 2,600円+税)
ISBN 978-4-87354-576-9 C3070 (2014.3) ㊞



アメリカ美術においては周期的に多様な形態のリアリズムが現れては消え、その都度アートの枠組みが更新されている。そうしたリアリズムの系譜を19世紀から現代まで時代ごとの文化的背景も踏まえながら辿っていくことによって、「世界認識の方法」としてのリアリズムがアメリカ文化のなかで果たしてきた役割を明らかにする。

泊園書院と大正蘭亭会百周年

藪田 貫 陶 徳民 編著

A5 394頁 定価 3,850円 (本体 3,500円+税)
ISBN 978-4-87354-601-8 C3070 (2015.3) ㊞



懐徳堂とならぶ大阪の私塾泊園書院と大正蘭亭会100年の軌跡。第1部では、藤澤東暎・南岳・黄鶴・黄坡の「三世四代」120年余の開催された蘭亭会の軌跡を名品で迎るとともに、尖閣問題の最中に開催された日中の著名書家による揮毫作品展示の記録を収める。近世から現代の大阪における漢学研究・日中交流の動向を明らかにした貴重な一冊。

続狂言史の基礎的研究

関屋 俊彦 著

A5上製 834頁 定価 8,800円 (本体 8,000円+税)
ISBN 978-4-87354-610-0 C3070 (2015.3) ㊞



第一論文集『狂言史の基礎的研究』以来20年ぶりに狂言を史的観点から総括。新たに見出された大蔵宗家文書と新生田文庫本の二本柱を軸に展開される。常に文学史を念頭に置いて書かれた恩師伊藤正義氏の遺訓を胸に、後学のためにあえて「室町時代の天才たち」を冒頭に、人間喜劇としての狂言が世界の笑い研究にいかに関わるかを示唆。

ビルダーボーゲンの研究

宇佐美 幸彦 著

A5上製 796頁 定価 7,150円 (本体 6,500円+税)
ISBN 978-4-87354-633-9 C3070 (2016.3) ㊞



ビルダーボーゲンは19世紀ドイツの大衆の間に普及した一枚絵の印刷物である。ドイツ版の浮世絵・瓦版であり、グラビア雑誌、マンガ、アニメの原型である。視覚・情報メディアの歴史的研究には不可欠な研究対象である。また大衆の生活、心情が反映されており、ドイツ大衆を歴史的に把握するためには貴重な史料である。

林謙三『隋唐燕楽調研究』とその周辺

長谷部 剛 山寺 三知 共編訳

A5 380頁 定価 2,420円 (本体 2,200円+税)
ISBN 978-4-87354-654-4 C3073 (2017.3) ㊞



名著復活！世界的に著名な東洋音楽学者、林謙三の不朽の名著『隋唐燕楽調研究』は日本語原稿が失われ、郭沫若の中国語訳しか現存しない。本書は、郭訳に基づき日本語版を復元、また、林謙三の未発表稿「唐楽調の淵源」、「郭沫若さんと私の『隋唐燕楽調研究』」、陳応時「『隋唐燕楽調研究』の新見解を論ず」なども収録。

〈現場〉のアイドル文化論

—大学教授、ハロプロアイドルに逢いにゆく。—

森 貴史 著

四六判 310頁 定価 1,870円 (本体 1,700円+税)
ISBN 978-4-87354-724-4 C3070 (2020.7) ㊞

ゼミ生の卒論がきっかけでアイドルにハマる「こじらせ」大学教授は、40代後半で初めてアイドルに逢いにゆく。本書はその〈現場〉での体験を元に考察したアイドル文化論。現在のアイドルと、それをめぐるファンコミュニティと〈現場〉のあり方を論じることで、現代日本のアイドル文化の実態を広範に論じる、稀有なサブカルチャー研究書。

日英仏 日本拳法の基本習得教書

—日本拳法に学ぶリスクマネジメント—

亀井 克之 著

B5 152頁 定価 2,640円 (本体 2,400円+税)
ISBN 978-4-87354-740-4 C3075 (2021.10) ㊞

1932年澤山宗海が創始した日本拳法と、1978年亀井利明が創設した日本リスクマネジメント学会。これらは関西大学発祥であり、本書は2つの「粹」共演の書である。第一部は日英仏3カ国語と写真入りで中学校武道教育の教本に対応。第二部はリスクマネジメント基礎理論とリスクマネジメント論から見た日本拳法が育む安全重視の思想論。

語 学

外国語コミュニケーションの情意と動機 — 研究と教育の視点 —

八島 智子 著
A5 210頁 定価 2,200円 (本体 2,000円+税)
ISBN 978-4-87354-394-9 C3082 (2004.3) ㊞



外国語を用いた異文化との出会いは、他者との対話を通して共通の意味を構築していくプロセスである。その中で自己を意識し行動レパートリーを拡張する。本書では、外国語で話すときの不安や自信、外国語学習の動機、異文化への態度や異文化接触などを扱い、異文化理解をめざす外国語教育研究への学際的アプローチを提示する。

外国語学習とコミュニケーションの心理 — 研究と教育の視点 —

八島 智子 著
A5 236頁 定価 2,200円 (本体 2,000円+税)
ISBN 978-4-87354-687-2 C3082 (2019.3) ㊞

外国語でコミュニケーションを図るといのは極めて複雑な作業である。外国語の能力だけでなく、使うときの不安や緊張、外国語学習の動機づけ、異文化への態度や国際性など、多くの要因が関わる。本書では外国語学習とコミュニケーションの心理を、応用言語学、コミュニケーション学、心理学の3分野から幅広く探求する。

17世紀フランス文法家証言集Ⅳ — 動詞 —

伊藤 誠宏 著 ※大半が欧文で記載
A5上製 402頁 定価 4,950円 (本体 4,500円+税)
ISBN 978-4-87354-598-1 C3085 (2015.3) ㊞

17世紀フランス文法家における動詞の形態に関する見解を収集した資料文献集。Oudin, Vaugelasなど、近代フランス語の形成に寄与した人々が、どのような考えに基づいて国語を精査・洗練し、作り上げようとしていたかを、感知できると思う。また、近代フランス語の形成過程を知るのに役立つことができる、貴重な著書でもある。

17世紀フランス文法家証言集Ⅴ — 前置詞 —

伊藤 誠宏 著 ※大半が欧文で記載
A5上製 420頁 定価 4,950円 (本体 4,500円+税)
ISBN 978-4-87354-665-0 C3085 (2018.1) ㊞

17世紀フランス文法家の前置詞に関する見解を収集した資料文献集。Oudin, Vaugelasなど近代フランス語の形成に寄与した人々が、どのような考えに基づいて国語を精査・洗練し、作り上げようとしたかを感知できると思う。また、近代フランス語の形成過程を学ぶのに役立つことができる、貴重な著書でもある。

17世紀フランス文法家証言集Ⅵ — 代名詞 —

伊藤 誠宏 著 ※大半が欧文で記載
A5上製 338頁 定価 4,950円 (本体 4,500円+税)
ISBN 978-4-87354-714-5 C3085 (2020.2) ㊞

17世紀フランス文法家の代名詞に関する見解を収集した資料文献集である。Oudin, Vaugelasなど近代フランス語の形成に寄与した人々が、どのような考えに基づいて国語を精査・洗練し、作り上げようとしたかを感知できると思う。また、本書は近代フランス語の形成過程を学ぶのに役立つ貴重な著書でもある。

17世紀フランス文法家証言集Ⅶ — 形容詞 —

伊藤 誠宏 著 ※大半が欧文で記載
A5上製 358頁 定価 5,040円 (本体 4,600円+税)
ISBN 978-4-87354-743-5 C3085 (2021.11) ㊞

17世紀フランス文法家における形容詞への見解を収集した資料文献集である。Oudin, Vaugelasなど、近代フランス語の形成に寄与した人々が、どのような考えで国語を精査・洗練し、作り上げようとしていたかを本書から感知できる。類書がとぼしい現在、このような証言資料集は17世紀フランス語解明やフランス語研究に寄与するといえる。

英語教育に生かす英語語法学

奥田 隆一 著
A5上製 258頁 定価 3,080円 (本体 2,800円+税)
ISBN 978-4-87354-634-6 C3082 (2016.3) ㊞

英語のコミュニケーション教育が強調されるにつれて、英文法・語法が軽視され、英語を正確に理解・表現できない生徒が増えてきている。この本では、コミュニケーションにも重要な、日本人の理解しにくい英文法・英語法などについて考察し、日英語の違いと日本人が理解困難な点に配慮する英語教育の復権を、具体的な例をあげて提案する。

英語語法学の展開

奥田 隆一 著

A5上製 186頁 定価 1,980円 (本体 1,800円+税)
ISBN 978-4-87354-674-2 C3082 (2018.3) ㊞

現代英語に見られる興味深い語法現象を、具体例をあげながら紹介する。それらを新しい視点から大きく捉え直し、英語の用法の現状を見て行くとともに、現代英語の用法の分析に有効である新しい視点を提示する。特に、現代英語の口語表現で使用される、様々な語法現象を取り上げ、その背景にある使用理由の探求を試みた。

英語ことわざ使用の実態

奥田 隆一 著

A5上製 200頁 定価 2,090円 (本体 1,900円+税)
ISBN 978-4-87354-727-5 C3082 (2020.12) ㊞

英語のことわざの本には、どのように使われるのか、今でも使われているのか、という情報がほぼない。本書では英語学の分析方法や知見を基礎に、ことわざの表現形式に注目し、現代英語で実際に使用されている具体例を検討、英語のことわざの使用に関する現状とその特徴を明らかにした。現代英語での各ことわざの使用頻度リストを掲載。

フランス語発音指導法入門

菊地 歌子 著

A5 206頁 定価 3,300円 (本体 3,000円+税)
ISBN 978-4-87354-583-7 C3085 (2014.3) ㊞



フランス語の発音指導用入門書。音声学の専門知識がなくても、授業の中で発音指導ができるメソッドを解説している。本書は、説明先行ではない、口頭練習との連動により詳説した実践的指導法が特徴。また、フランス語の中・上級者が、自分の発音を基本から見直し、改善しようとする場合にも活用できる。

『馬経諺解』語彙研究

— 17世紀近代朝鮮語の語彙の宝庫 —

高明均 著

A5上製 235頁 定価 3,300円 (本体 3,000円+税)
ISBN 978-4-87354-590-5 C3087 (2014.12) ㊞



17世紀近代朝鮮語の文献、『馬経諺解』の語彙に対する研究である。漢字の対訳語と相応する諺解部分を例文とともに抜粋し、漢字語を音節別に分けて整理した。さらに、対訳語を品詞・内容別に、そして語彙の諸相である同義語、対立語、同音異義語と多義語、方向および位置語、身体語、色彩語などを調べた。

ポスト・ソヴィエト時代の「国家語」

— 国家建設期のキルギス共和国における言語と社会 —

小田桐 奈美 著

A5上製 280頁 定価 3,850円 (本体 3,500円+税)
ISBN 978-4-87354-599-8 C3087 (2015.3) ㊞



近年ヨーロッパ型の「一国家一言語」モデルの矛盾や限界が指摘されているが、旧ソ連諸国においては現在もなお「国家語」を整備・推進する過程が進行している。転換期の社会で、言語はどのような役割を果たすのか。本書では、中央アジアのキルギス共和国における言語と社会の様相を、現地調査に基づいて明らかにする。

現代中国語における情報源表出形式

— 本来の守備範囲と拡張用法 —

李佳樑 著

A5上製 268頁 定価 3,520円 (本体 3,200円+税)
ISBN 978-4-87354-684-1 C3087 (2019.2) ㊞

本書は、孤立語である中国語も合理的に説明できるように理論的枠組みを探った上で、現代中国語における情報源表出に関連する複数の構文・機能語がどのような意味機能を持ち、如何に成立したのかという問題を考察し、中国語の情報源表出の体系を浮き彫りにしたものである。この分野の研究における必読文献と言えよう。

現代中国語アスペクトの体系的研究

戴 耀晶 著／李佳樑 小嶋 美由紀 共訳

A5上製 268頁 定価 3,630円 (本体 3,300円+税)
ISBN 978-4-87354-729-9 C3087 (2021.3) ㊞

中国語におけるアスペクト研究の第一人者である戴耀晶の名著『現代漢語時体系研究』の日本語訳書。中国語に触れた人なら一度は興味を持つ中国語の難解なアスペクト現象。海外の研究で影響力のある分析手法も取り入れながらも、独自のアプローチで体系的かつ包括的に論じている。本書は原著者の考えをより伝えるため訳者註を施した。

コミュニケーションのための 英語音声学研究

山根 繁 著

A5 256頁 定価 1,980円 (本体 1,800円+税)
ISBN 978-4-87354-689-6 C3082 (2019.2) ㊞

英語学習者のコミュニケーション能力に最も重要な要素のひとつは、相手に情報を正確に伝えることである。本書は、意思伝達に必要な発音力を育成することを目的にし、さらに、大学院生、教育現場の教師、研究者が発音研究や音声指導を行うにあたり、必要不可欠な情報をまとめた実践的な指導書・研究書になっている。

ウソと欺瞞のレトリック
— ポスト・トゥルース時代の語用論 —

山本 英一 著

A5上製 180頁 定価 2,860円 (本体 2,600円+税)
ISBN 978-4-87354-693-3 C3082 (2019.3) ©

ポスト・トゥルースの語に象徴されるように、現代は真実と虚偽の境界が見えにくい。ウソ・欺瞞が日常化した今、背景にあるレトリックの特徴を明らかにすることが重要になっている。本書は、語用論を出発点に、誠実な発話の対極にあるウソ・欺瞞が成立する仕組みを考え、間違っただけの解釈へと誘導される人間の性向を解き明かす。



文学

日本図書館協会選定図書

中国文学史新著（増訂本）下巻

章培恒 駱玉明 主編／井上 泰山 四方 美智子 共訳

B5上製 650頁 定価 9,900円（本体 9,000円＋税）

ISBN 978-4-87354-573-8 C3098 (2014.3) ㊦



文学の発展は人間性の発展と歩みを同じくし、文学内部の進展は形式の進展を通して体現されるとの基本的認識に立ち、古代から現代に至るまでの作品を新たな視点で分析した画期的中国文学通史。近世文学を「挫折期」「復興期」「徘徊期」「変革期」に区分して論述。文学史の常識を根本から覆す名著。本邦初訳、上中下全巻完結。

三国志への道標

井上 泰山 著

A5 294頁 定価 1,980円（本体 1,800円＋税）

ISBN 978-4-87354-688-9 C3098 (2019.2) ㊦

小説『三国志演義』の世界を全15回にわたって解説した講演集。「連環の計」「赤壁の戦い」「三顧の礼」などの名場面や、「義」を基軸として展開される乱世の人間模様を多角的に分析し、その真髓に迫る。16世紀末にスペインに流出した貴重な版本についても、筆者自身の調査結果を詳細に報告し、近年までの研究史を回顧。

実践知性としての英文学研究

宇佐見 太市 著

A5上製 430頁 定価 3,850円（本体 3,500円＋税）

ISBN 978-4-87354-572-1 C3098 (2014.3) ㊦

日本の過去の「知」の巨人たちの思索を追い、それらを吟味・検証することによって日本の英文学研究界が抱える諸問題を別抉し、明日の日本の英文学研究界のありようを見ようとしたのが第1部。第2部は、英文学研究を英語教育の応用篇として捉える著者の主要な思索の軌跡を振り返り、英文学研究界の活性化を模索した論考。

EMMA VOL. II

関西大学ジェイン・オースティン研究会 編著

四六判上製 390頁 定価 4,730円（本体 4,300円＋税）

ISBN 978-4-87354-627-8 C3097 (2016.3) ㊦



1994年関大版注釈『エマ』第1巻の刊行以来22年ぶりの注釈書第II巻。本注釈は、世界中のオースティン人気に呼応して英米で続々と刊行された『エマ』のテキスト、Penguin版、Cambridge版、Harvard版等に見る最新の知見を活かし、作品の時代的、文化的背景に関する情報を多く盛り込んだ。注は第III巻で完結。

ヘンリー・ジェイムズ短編選集

—「ある年の物語」他三編—

ヘンリー・ジェイムズ 著／李 春喜 訳

四六判 326頁 定価 2,530円（本体 2,300円＋税）

ISBN 978-4-87354-638-4 C3097 (2016.9) ㊦

ヘンリー・ジェイムズ没後100周年記念。本邦初訳で短編四編を紹介。南北戦争を題材にした最後の未訳作品「ある年の物語」、ヨーロッパ社交界の洗礼を浴びる青年の姿を描いた「ユージーン・ピカリング」、ジェイムズ作品の中で異彩を放つ「ベンヴェーリオ」、結婚と恋愛の逆説をあつかった「進むべき道」の四編を所収。

左手のための小作品集

—100のエピソード—

J・ロバート・レノン 著／李 春喜 訳

四六判 254頁 定価 2,200円（本体 2,000円＋税）

ISBN 978-4-87354-711-4 C3097 (2020.2) ㊦



本書は、現在米国で活躍中の小説家、J・ロバート・レノン著 Pieces for the Left Hand: 100 Anecdotes の全訳である。本書は全7章から構成されており、1頁から3頁程度の掌編100編が所収されている。そのほとんどが本邦初訳であるだけでなく、一冊の図書としては、J・ロバート・レノン氏を初めて日本に紹介するものである。

日本における近代中国学の始まり

—漢学の革新と同時代文化交渉—

陶 徳民 著

A5 340頁 定価 2,530円（本体 2,300円＋税）

ISBN 978-4-87354-650-6 C3091 (2017.3) ㊦



藤澤東咳から見た錢泳『海外新書』、星野恒選・王韜評『明清八家文』；「桐城派」族譜と藤野海南・宮島大八、吉野作造・青木正児・西村碩園の五四「文学革命」観；重野安繹・青木・倉石武四郎の「漢文直読」論、内藤湖南の章学誠顕彰に影響された胡適・姚名達・張爾田など、「土着」の漢学が目指した近代的革新を活写。

スタンダールのオイコノミア
— 経済の思想、ロマン主義、作家であること —

柏木 治 著
四六判上製 342頁 定価 3,300円 (本体 3,000円+税)
ISBN 978-4-87354-652-0 C3098 (2017.3) ㊞



19世紀前半、社会の資本主義化が進むなか、文学活動もまた市場経済と密接に関係するようになった。本書は、個人的な金銭問題から同時代の産業主義的経済思想にいたるまで、金にかかわる諸現象の総体を「オイコノミア」とみなし、スタンダールがこれにどのように向き合ったかを検討しつつ、金銭と文学活動の関係に迫る。

銀行家たちのロマン主義
— 一九世紀フランスの文芸とホモ・エコノミクス —

柏木 治 著
四六判 292頁 定価 2,750円 (本体 2,500円+税)
ISBN 978-4-87354-703-9 C3098 (2019.3) ㊞

フランス文芸において「銀行家」がその存在感を増すようになるのは19世紀にはいつからである。自由主義思想と古典派経済学の興隆、産業革命と資本主義経済の発達のなかで社会は「銀行家」の表象をどのように形成していったのか。ロマン主義時代における銀行家たちの現実に照準を合わせ、彼らの文化活動の実相に迫る。

英米の絵本の窓から
— Views from the Window of Picture Books —

石原 敏子 著
A5上製 270頁 定価 2,970円 (本体 2,700円+税)
ISBN 978-4-87354-663-6 C3098 (2017.11) ㊞



絵本にできることは何か。外を見ると同時に中を見る、という「窓」のイメージをテーマとして、絵本が、外の世界へと読者の視点を向かわせる上に、自分の心の内を見つめる助けとなることを指摘する。さらに、絵本というメディアの豊かさを示すものとして、ABC絵本、楽譜絵本、手芸絵本というジャンルの作品を紹介する。

my little abc book
— 絵本を楽しむ26文字の旅 —

石原 敏子 著
B6 102頁 定価 1,100円 (本体 1,000円+税)
ISBN 978-4-87354-701-5 C0098 (2019.3) ㊞



絵本は、子どものためだけのものではなく、大人にとっては、シンプルな言葉で書かれた哲学書である。絵本を読むことで、自分の考えを整理し、生き方を振り返ることを提案する。ABCの一文字ずつ絵本を取り上げ、ちょうど子どもが読みの基本のアルファベットを学び取るように、絵本の楽しみ方の基礎を身に付けていく。

情報社会の伝統詩

鵜飼 康東 著
四六判 300頁 定価 3,080円 (本体 2,800円+税)
ISBN 978-4-87354-669-8 C3091 (2018.2) ㊞



情報通信技術と短歌の相互関係を分析した学術書。著者は第20回角川短歌賞を受賞した情報経済学者である。文理融合分野ソシオネットワーク戦略を創出した。第1部で情報通信技術の短歌への影響を叙事詩の観点から考察し、第2部で純粹抒情詩の立場から象徴主義短歌を批判、第3部に著者の代表的文藝評論を収録している。

**杜甫詩文集の形成に関する
文献学的研究**

長谷部 剛 著
A5 296頁 定価 2,310円 (本体 2,100円+税)
ISBN 978-4-87354-694-0 C3098 (2019.3) ㊞

中国最大の詩人、杜甫の詩文集については、その死後300年を経て成立した『宋本杜工部集』が現存する唯一完全なテキストであり、杜甫詩人の自筆テキストは現存しない。本書は中国文献学の知見・研究手法を取り入れ、「杜甫生前、そして死後、彼のテキストはどのように筆写され流通したのか」という問題についてその解明を試みたものである。

ダニエル・デフォー研究

干井 洋一 著
A5上製 246頁 定価 3,850円 (本体 3,500円+税)
ISBN 978-4-87354-709-1 C3098 (2019.12) ㊞

英国小説の誕生に欠かせない役割を果たしたダニエル・デフォー。彼が取り組んだテーマは多岐に亘っており、小説だけでなく政治や経済に関する著作も出している。本書はデフォー・カノン問題を踏まえつつ、文学理論を援用しながら、英国小説黎明期の作家ダニエル・デフォーを多角的に考察した研究書である。

チロルの悲劇
— アンドレーアス・ホーファー —

カール・インマーマン 著
宇佐美 幸彦 酒井 友里 共訳
A5 272頁 定価 3,410円 (本体 3,100円+税)
ISBN 978-4-87354-710-7 C3098 (2019.12) ㊞

1809年、世界最強のナポレオン軍がチロルに進軍してくる。チロル民衆の英雄ホーファー率いる農民軍は、岩石落としなど山岳地帯特有の戦法で祖国防衛の戦いに勝利した。だがナポレオン軍にウィーンまで攻め込まれたオーストリア皇帝は講和を結び、チロルを放棄する。チロル農民軍の勇敢な戦いと悲劇的結末を扱った作品。

サラ・ブジョル・ラッセル詩集

— 肉体の下のフィンセント —

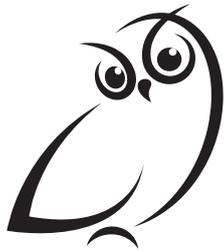
サラ・ブジョル・ラッセル 著
イバン・ディアス・サンチョ 鼓宗 編訳
A5 186頁 定価 2,530円 (本体 2,300円+税)
ISBN 978-4-87354-716-9 C3098 (2020.3) ㊦

「詩は互いに滋養を分け合う」— 言葉が放つ光の彫金師、カタルーニャの女性詩人サラ・ブジョル・ラッセルの選詩集。ゴッホから靈感を得た表題作のほか、「月の孤独」、「愛、渴望の深さ」など、2019年出版の最新詩集所収の3編を含む4冊の詩集から33編を収載。ディアス・サンチョによる解題を併録。日西2ヶ国語版。

アラン・ロブ＝グリエの小説Ⅱ

奥純 著
A5上製 332頁 定価 4,400円 (本体 4,000円+税)
ISBN 978-4-87354-726-8 C3098 (2020.11) ㊦

抑圧と分断を超えた新しい生活のために、不連続な未来を生きる想像力とは何か。フランスに新風を巻き起こした文芸改革運動ヌーボー・ロマンの先駆者アラン・ロブ＝グリエ。その作品は非常に難解で、幻想的な雰囲気満ちている。本書は彼の作品構成の変遷とその意味を考察。ロブ＝グリエの作家としての全貌を明らかにすることを試みた。



関西大学東西学術研究所出版図書

関西大学東西学術研究所研究叢刊44

近世東アジア海域の帆船と文化交渉

松浦 章 著

A5上製 486頁 定価 4,950円 (本体 4,500円+税)
ISBN 978-4-87354-569-1 C3022 (2013.10)



近世東アジア海域で活動していた帆船、特に積極的に海洋進出を行った中国帆船、和船などの航運、特にアジア海域諸国に漂着し、どのように言語接触がされたか。日本人が見たマカオや漂流民の送還、砂糖・書籍・海産物の貿易による中国と日本の関係、薩摩と琉球との海運、下関の帆船航運としての地位、中国帆船のベトナム貿易などを述べる。

関西大学東西学術研究所研究叢刊45

住まいと集落が語る風土

— 日本・琉球・朝鮮 —

森 隆男 編著

A5上製 336頁 定価 4,620円 (本体 4,200円+税)
ISBN 978-4-87354-578-3 C3039 (2014.3)



本書は日本と南西諸島、朝鮮半島をフィールドに、住まいや集落の構造、景観などに関する調査・研究の成果をまとめたものである。研究グループには民俗学・地理学・建築学の研究者が参加し、研究に当たってはこれらの地域で展開された文化交流などの歴史を視野に入れて比較する視点が共有された。

関西大学東西学術研究所研究叢刊46

日本古代中世の仏教と東アジア

原田 正俊 編著

A5 356頁 定価 4,400円 (本体 4,000円+税)
ISBN 978-4-87354-579-0 C3021 (2014.3)



日本古代中世の仏教と東アジア仏教の歴史を交流・伝播と変容の視点から共同研究した成果論文集。東部ユーラシアにおける五臺山信仰の展開と王権、生身釈迦像信仰と王朝の正統性、僧伝のなかの出家因縁の分析、日本古代の空海密教の受容、入宋僧奄然の伝記の考証、中世禅宗の伝法観など諸論点から東アジアの仏教史を考察。

関西大学東西学術研究所研究叢刊47

越境の映画史

堀 潤之 菅原 慶乃 編著

四六判上製 272頁 定価 2,750円 (本体 2,500円+税)
ISBN 978-4-87354-580-6 C3074 (2014.3)



時期的には初期映画の時代から1960年代半ばまでおよび、地理的にはヨーロッパ（フランス、ドイツ、帝政ロシア）、アジア（日本、上海、香港、マレー半島）、そしてアメリカに関わる、東西の映画史における「越境」の6つのケース・スタディを通じて、ナショナルな枠組みを乗り越えた映画史を構想する。

関西大学東西学術研究所研究叢刊48

1955年「アジア諸国会議」とその周辺

— 火野葦平インド紀行 —

増田 周子 著

A5上製 294頁 定価 3,300円 (本体 3,000円+税)
ISBN 978-4-87354-584-4 C3090 (2014.5)



世界をとりまく国際緊張の緩和を目的として、ラメシュワリ・ネール夫人の提案のもと1955年4月に14ヶ国200人が集結しデリーで開催された「アジア諸国会議」の全容を記し、作家火野葦平が見た当時のインド芸術、風土、文化状況などを記した書。半世紀を超えてアジアの平和と連帯の精神が、今、浮かび上がる。

関西大学東西学術研究所研究叢刊49

近代東アジア海域の人と船

— 経済交流と文化交渉 —

松浦 章 著

A5上製 428頁 定価 4,400円 (本体 4,000円+税)
ISBN 978-4-87354-589-9 C3022 (2014.12)



近代東アジア海域の人的、物的交流に関する視点から、経済交流の側面から解明を試みる。とくに19世紀後半の中国を中心とする帆船、汽船の航運活動による物流や20世紀初期における華僑の神戸における活動、19世紀末から20世紀前半における日本と中国や台湾との航路を往来した日本汽船の活動を通して東アジアの文化交渉の視点から述べる。

関西大学東西学術研究所研究叢刊50

〈時〉と〈鏡〉超越的覆蔵性の哲学

— 道元・西田・大拙・ハイデガーの思索をめぐって —

井上 克人 著

A5上製 476頁 定価 4,950円 (本体 4,500円+税)
ISBN 978-4-87354-600-1 C3010 (2015.3)



本書は、前著『露源と覆蔵—現象学から宗教哲学へ』の続編である。道元の禅思想にみる存在論、西田幾多郎の〈絶対無〉と〈逆対応〉の論理、鈴木大拙が説く〈即非〉の論理、そしてハイデガーの〈有〉と〈時〉をめぐる思索それぞれに通底するものを探り、それを「超越的覆蔵性」という著者独自の視点から読み解いた哲学的洞察の書。

関西大学東西学術研究所研究叢刊51

東アジア言語接触の研究

沈 国威 内田 慶市 編著

A5上製 448頁 定価 4,400円(本体 4,000円+税)
ISBN 978-4-87354-622-3 C3087 (2016.2)



漢字、特に近代以降の漢字新語、訳語の創出、普及に関する最新研究。翻訳論、文体論から漢字訳語の造語法、新漢語の語構成、「牛津」「劍橋」「恋愛」「難民」などの個別語誌まで多角度からアプローチし、近代語形成の諸問題を漢字文化圏における言語接触・語彙交流というバックグラウンドにおいて考察する論文集である。

関西大学東西学術研究所研究叢刊52

文化交渉学のパスpekティブ — ICIS 国際シンポジウム論文集 —

吾妻 重二 編著

A5上製 486頁 定価 4,730円(本体 4,300円+税)
ISBN 978-4-87354-637-7 C3020 (2016.8)



東アジアにおける文化の形成、展開、相互交渉の様相をダイナミックにとらえ、文化交渉学の展望を探る東西学術研究所 ICIS の国際シンポジウム論文集。言語接触研究班、近世近代日中文化交流研究班、東アジア宗教儀礼研究班の ICIS 三研究班のメンバー、および海外の研究者による論文 16 点を収める。文化交渉学の新たな成果。

関西大学東西学術研究所研究叢刊53

The Cultural Interaction of East Asia Seas in the Early Modern

松浦 章 編著

※全て欧文で記載

A5上製 240頁 定価 3,520円(本体 3,200円+税)
ISBN 978-4-87354-642-1 C3022 (2016.11)



近世東アジア海域において朝鮮王朝、江戸幕府は“鎖国”的な政策を堅持したため、海外への船舶の進出はほとんど見られなかった。しかし中国帆船は積極的に海外に進出し、取りわけ中国帆船は“鎖国”下の日本へ恒常的に来航し、日中文化交流に貢献した。本書はその一端に関する論考と、中国帆船の東南アジア海域への進出などの論考を収める。

関西大学東西学術研究所研究叢刊54

From Medieval to Modern — Aspects of the Western Literary Tradition —

和田 葉子 編著

※約半数が欧文で記載

A5 212頁 定価 2,200円(本体 2,000円+税)
ISBN 978-4-87354-653-7 C3098 (2017.3)



中世初期から現代に至る、欧米の諸地域で生まれたラテン語、英語、スペイン語、ロシア語、フランス語による西洋文学の作品は、それぞれ独自の社会的、政治的、宗教的状況と深い関わりを持っている。そのような中で、これらの文学がどのような異文化の影響を受け、その結果がどのようにテキストに表れているのかを考察する。

関西大学東西学術研究所研究叢刊55

聖心のイコノロジー — 宗教改革前後まで —

蜷川 順子 著

A5 334頁 定価 5,280円(本体 4,800円+税)
ISBN 978-4-87354-655-1 C3071 (2017.3)



キリスト教世界で広く見られる聖心図像の起源と展開とを、世俗世界のハート形と比較しながら中世から近世にかけてのヨーロッパの文化、宗教、民俗事情などに探り、シスマ終結を機に公会議で定められた、パンとぶどう酒のそれぞれがもう一方の聖体を含むとする二種併存説に、積極的な図像展開の理由があったことを論じる。

関西大学東西学術研究所研究叢刊56

泊園書院と漢学・大阪・近代日本の水脈 — 関西大学創立130周年記念泊園書院シンポジウム論文集 —

吾妻 重二 編著

A5上製 250頁 定価 3,520円(本体 3,200円+税)
ISBN 978-4-87354-662-9 C3021 (2017.8)



関西大学の知的ルーツのひとつとなった大阪の私塾、泊園(はくえん)書院。江戸後期から明治・大正・昭和へと続くその知的伝統を、学問や芸術、門人、人脈の軌跡をめぐって論じ、漢学・大阪・近代日本とのかかわりを照射する。関西大学創立130周年を記念して開かれたシンポジウムの論文 8 点を収める。最新の研究成果。

関西大学東西学術研究所研究叢刊57

西教東漸と中日事情 — 拝礼・尊厳・信念をめぐる文化交渉 —

陶 徳民 著

A5 376頁 定価 3,960円(本体 3,600円+税)
ISBN 978-4-87354-700-8 C3020 (2019.3)



清の典札問題から明治末の三教会同までの東西宗教交渉史を、ローマ教皇と康熙帝、S・W・ウィリアムズと W・A・P・マーティン、王韜と J・レグ、中村敬宇と井上哲次郎、栗田寛と井上毅、藤澤南岳と西園寺公望、チェンバレンと小泉八雲、内藤湖南とトムソンなど複数の関係人物に対する研究と関連画像146点にて活写。

関西大学東西学術研究所研究叢刊58

近世東アジアにおける口語中国語文の研究 — 中国・朝鮮・日本 —

奥村 佳代子 著

A5 378頁 定価 2,310円(本体 2,100円+税)
ISBN 978-4-87354-699-5 C3087 (2019.3)



中国、朝鮮、日本には、それぞれ話し言葉として記述された資料群がある。話されたように書くことが意識された中国語とは、どのような特徴を持ち、また資料によってどのような違いが見られるのだろうか。唐通事の会話テキスト、中国档案資料の供述書、備辺司の間情別単等の資料を用い、話し言葉と書き言葉の境界を考察する。

関西大学東西学術研究所研究叢刊59
東西学術研究と文化交渉
— 石濱純太郎没後50年記念国際シンポジウム論文集 —

吾妻 重二 編著
A5上製 512頁 定価 6,270円 (本体 5,700円+税)
ISBN 978-4-87354-708-4 C3021 (2019.11)

近代東洋学のパイオニアとして言語学や敦煌学、チベット学、大阪文化研究などに大きな足跡を残した石濱純太郎は関西大学の中国学・東西学術研究発展の礎を築いた功労者でもあった。2018年はその没後50年にあたるどころから国際シンポジウムを開催した。国内外19篇の論考を収め、石濱の足跡と貢献を明らかにする。

関西大学東西学術研究所研究叢刊60
東南アジアの華人廟と文化交渉

二階堂 善弘 著
A5 146頁 定価 2,640円 (本体 2,400円+税)
ISBN 978-4-87354-713-8 C3014 (2020.2)

世界中にチャイナタウンが存在し、華人文化が広がっている。本書は東南アジアのシンガポールとマレーシアを中心に、華人たちの民間信仰や道教、習合の状況を現地調査に基づき報告する。また、ベトナム・タイ・フィリピンにあるチャイナタウンの廟の状況についても報告。様々な宗教文化が交錯する現象を、文化交渉の視点から追う。

関西大学東西学術研究所研究叢刊61
風景論
— 東アジアから見る・読む・考える —

中谷 伸生 編著
A5上製 348頁 定価 5,170円 (本体 4,700円+税)
ISBN 978-4-87354-721-3 C3071 (2020.3)



風景とは何か、という問題設定の下、日本美術を中心に、西洋美術や日本史や宗教学の論考を収録して、若手研究者たちによる斬新な研究を紹介する。これらの論考は「東アジア」という視点から考察されたものである。絵画史が多くを占めているが、近年、関心をもたれつつある多様な「風景画」をめぐる論考となっている。

関西大学東西学術研究所研究叢刊62
西士與近代中國：羅伯聃研究論集
— ロバート・トーム研究 (研究と影印) —

沈 国威 編著
A5上製 314頁 定価 5,060円 (本体 4,600円+税)
ISBN 978-4-87354-722-0 C3022 (2020.3)



1834年来華したイギリス人ロバート・トーム (羅伯聃) が、イソップ寓話を中国語に翻訳したり、中国語と英語の学習書を執筆したりする文化活動だけではなく、アヘン戦争中、外交官としても活躍した。本書は、翻訳史、中国語・英語学習史、外交史の角度から当時の貴重資料を用いてロバート・トームの人間像と貢献に迫る。

関西大学東西学術研究所研究叢刊63
松陰とペリー
— 下田密航をめぐる多言語的考察 —

陶 徳民 著
B5 162頁 定価 4,620円 (本体 4,200円+税)
ISBN 978-4-87354-723-7 C3021 (2020.3)



開国初期の下田湾で演出された日米交渉のドラマを、米側の一次史料と約60点の貴重画像を用いて活写。松陰の旗艦滞留時間の特定、下田獄中の嘆願書の解説、ペリーが行った人道的介入の事実確認など重要な発見を満載。近代東西文化交渉の視野から、日・中・英三言語を駆使して「心が動いた」歴史的瞬間をキャッチした意欲作。

関西大学東西学術研究所研究叢刊64
Abraham Lincoln, Samuel Williams and East Asia
— A Multilingual Study —

陶 徳民 編著
B5 214頁 定価 6,380円 (本体 5,800円+税)
ISBN 978-4-87354-737-4 C3021 (2021.3)



将軍家茂に返信しジョセ彦を日本に派遣したリンカーン大統領と、ペリーの通訳官と北京駐在代理公使を務めた宣教師ウィリアムズ。開国以降の中国・日本に影響し続けている二人の米国人に関する論考。本書は明星大学東京リンカーンセンターなどに所蔵されている一次資料より執筆した論文7編、関連する写真170余点と目録で構成されている。

関西大学東西学術研究所訳注シリーズ16
聖なるものをめぐる哲学
ミルチャ・エリアーデ

マルセリーノ・アヒース＝ビリャバルデ 著／平田 渡 訳
A5上製 374頁 定価 3,740円 (本体 3,400円+税)
ISBN 978-4-87354-563-9 C3014 (2013.3)



ポール・リケールの薫陶をうけた、若手実力派のスペイン人哲学者による、エリアーデの思想と方法論をめぐる学問史の試み。アルカイック期の宗教的な人間について、〈聖なるものの弁証法〉と〈宗教的シンボルイズム〉が中心的な役割を果たす、現象学的方法論によって真相が解き明かされる。恰好のエリアーデの入門書。

関西大学東西学術研究所訳注シリーズ17
クレアシオニズムの詩学
— ラテンアメリカのアヴァンギャルド —

ビセンテ・ウイドブロ 著／鼓 宗 編訳
A5上製 290頁 定価 3,300円 (本体 3,000円+税)
ISBN 978-4-87354-609-4 C3098 (2015.3)



クレアシオニズムは、チリの詩人ビセンテ・ウイドブロがダダや超現実主義と拮抗すべく唱えた前衛主義の美学。ルヴェルディ、ブルトン、ブニュエルらとの論争を生み、若きボルヘスが傾倒したスペインの前衛運動ウルトライズモ誕生の契機となった。本書には、初期から晩年までの詩論、宣言、インタビュー、詩編を採録した。

関西大学東西学術研究所訳注シリーズ18

神話から神化へ

— 中国民間宗教における神仏観 —

劉 雄峰 著／二階堂 善弘 監訳

A5 228頁 定価 3,190円 (本体 2,900円+税)
ISBN 978-4-87354-618-6 C3014 (2015.12)



人びとの宗教についての認識は、ますます深まっている。中国の明清時代には、宝巻を信仰の中心にすえる民間宗教が次々に興った。これまで、歴史的な研究が多かった民間宗教を、その信仰理論面から考察したものが本書である。神仏系譜、神話理論、救済観念、倫理想の4つに分類し、宗教的意義を新たに検討した。

関西大学東西学術研究所訳注シリーズ19

えも言われぬ美しさの、きらびやかにして、永遠なるサーカス

ラモン・ゴメス・デ・ラ・セルナ 著／平田 渡 訳

A5上製 544頁 定価 4,730円 (本体 4,300円+税)
ISBN 978-4-87354-628-5 C3097 (2016.3)



サーカス〈番記者〉を自認するスペイン前衛派作家、ラモンが書き留めた、はらはらどきどきの、空中ブランコや綱渡り、曲馬の高度な技、そして観客に笑いをふりまき、心をなごませる道化師の練達の芸。ベル・エポックのパリとマドリードに花開いたサーカス文化の、馥郁たる薫りがただよう。文化人類学的に評価の高い作品。

関西大学東西学術研究所訳注シリーズ20

コスタリカ選詩集一緑の祈り

カルロス・フランシスコ・モンヘ 編／鼓 宗 訳

A5上製 254頁 定価 3,080円 (本体 2,800円+税)
ISBN 978-4-87354-698-8 C3098 (2019.3)



自然豊かな平和国家として名高い中米の楽園、コスタリカ。本書は同国を代表する現代詩人の一人が編んだアンソロジーである。ダリーオの影響色濃いモデルニスモの詩に始まり、フェミニズムやディスコミュニケーションなど、多様な主題と格闘する今日の作品にまで至る、かの国の詩人たちが記してきた詩の100年の軌跡をたどる。

関西大学東西学術研究所資料集刊13-10

天保七年薩摩片浦南京船金全勝號資料

— 江戸時代漂着唐船資料集十一 —

松浦 章 編著

A5 382頁 定価 3,740円 (本体 3,400円+税)
ISBN 978-4-87354-666-7 C3021 (2018.2)



1836(天保7)年正月に、現在の鹿児島県の片浦に漂着した中国から長崎への貿易船金全勝号の、約40年にわたる中日間を往来した記録を収録。特に、金全勝号が文化年間初期に長崎来航を確認できる繪圖『長崎遊覧圖繪』全巻の影印と研究編の「唐船金全勝号の来日とその時代」は、“唐船”金全勝号の航跡について述べる。

関西大学東西学術研究所資料集刊27-3

家礼文献集成 日本篇 三

吾妻 重二 編著

B5函入 354頁 定価 5,720円 (本体 5,200円+税)
ISBN 978-4-87354-604-9 C3014 (2015.3)



朱熹(朱子)の『家礼』の冠婚葬祭儀礼は中国のみならず、韓国・朝鮮・琉球・ベトナム・日本に大きな影響をもたらした。本書は『家礼』シリーズ日本篇一および二に続く成果。朱舜水『朱氏談綺』、徳川光圀の儒式葬儀記録、『喪祭儀略』、『喪礼略私注』、『喪祭式』など水戸学における儒礼関連文献を収録する。詳細な解説を付す。

関西大学東西学術研究所資料集刊27-4

家礼文献集成 日本篇 四

吾妻 重二 編著

B5函入 300頁 定価 4,950円 (本体 4,500円+税)
ISBN 978-4-87354-605-6 C3014 (2015.3)



本シリーズ日本篇三に続く成果。江戸時代初期、朱子学の受容に大きな役割を果たした中村惕斎およびその門人増田立軒の『家礼』関連著作を影印、収載する。すなわち中村惕斎『慎終疏節通考』『追遠疏節通考』、増田立軒『慎終疏節聞録』『追遠疏節聞録』の四書。いずれも儒教儀礼研究の貴重資料となっている。解説つき。

関西大学東西学術研究所資料集刊27-5

家礼文献集成 日本篇 五

吾妻 重二 編著

B5上製 382頁 定価 4,730円 (本体 4,300円+税)
ISBN 978-4-87354-625-4 C3014 (2016.3)



日本における朱子『家礼』関連文献影印シリーズの第5冊。藤井懶斎『二礼童覽』、熊沢蕃山『葬祭弁論』、和刻本『居家必用事類全集』乙集の家礼部分、室鳩巢『文公家礼通考』、新井白石『家礼儀節考』、猪飼敬所『文公家礼儀節正誤』、岡山藩の関連文献二種を影印・翻刻する。いずれも儒教儀礼の貴重資料。詳細な解説を付す。

関西大学東西学術研究所資料集刊27-6

家礼文献集成 日本篇 六

吾妻 重二 編著

B5上製 358頁 定価 4,730円 (本体 4,300円+税)
ISBN 978-4-87354-626-1 C3014 (2016.3)



朱子『家礼』関連文献影印シリーズの第6冊。江戸時代に刊行された『家礼』関係と刻本三種を収める。浅見綱齋点『家礼』5巻・図1巻、『文公家礼儀節』8巻、小出永安点『新刻性理大全』家礼部分4巻。いずれも広く読まれたテキストとして影響が大きい。中国刊本(底本)の考察など書誌学上の詳細な解説を付す。

関西大学東西学術研究所資料集刊27-7
家礼文献集成 日本篇 七

吾妻 重二 編著
B5上製 384頁 定価 5,720円 (本体 5,200円+税)
ISBN 978-4-87354-672-8 C3014 (2018.3)



朱子『家礼』関連文献影印シリーズの第7冊。古学系として荻生徂徠、伊藤東涯および東峯、朱子学系として中井甍庵および竹山・履軒、陽明学系として三輪執斎と佐藤一斎、考証学系として津阪東陽、松崎慊堂、朝川善庵、洋学系として佐久間象山、そして有職故実家による諸著作を収める。詳細な解説つき。儀礼史上の重要文献。

関西大学東西学術研究所資料集刊27-8
家礼文献集成 日本篇 八

吾妻 重二 編著
B5上製 368頁 定価 4,950円 (本体 4,500円+税)
ISBN 978-4-87354-691-9 C3014 (2019.3)



朱子『家礼』関連文献影印シリーズの第8冊。林鳳岡・人見竹洞・木下順庵『服制合編』、中村てき斎『親尊服義』、伊藤東涯『釈親考』、村士玉水『二礼儀略』、池田草庵『喪祭略儀』を輯集、影印する。「冠婚葬祭」の儒教儀礼のうち、葬祭（喪祭）に関する重要文献の数々。詳細な目次と解説を附する。

関西大学東西学術研究所資料集刊27-9
家礼文献集成 日本篇 九

吾妻 重二 編著
B5上製 322頁 定価 6,050円 (本体 5,500円+税)
ISBN 978-4-87354-736-7 C3014 (2021.3)



朱子『家礼』関連文献影印シリーズの第9冊。儒教葬祭儀礼をめぐる山崎闇斎、浅見綱斎の著作および講義を影印収載する。すなわち闇斎の『文会筆録』家礼部分、綱斎の『家礼師説』、『喪祭小記』（『通祭喪葬小記』）および『浅見先生祠堂考』、『家礼紀聞』、『喪祭略記』である。『家礼師説』（写本）には全文の翻刻を附した。解説つき。

関西大学東西学術研究所資料集刊27-10
家礼文献集成 日本篇 十

吾妻 重二 編著
B5上製 358頁 定価 7,590円 (本体 6,900円+税)
ISBN 978-4-87354-751-0 C3014 (2022.3)



朱子『家礼』関連文献影印シリーズ『家礼文献集成 日本篇』一～九（2010～2021）に続く10冊目の資料集。写本で伝えられた三宅尚斎と、その門人の著作を影印収載する。『朱子家礼筆記』、『家礼雑記』、『祭祀略礼』、『祭祠略記』など、重要でありながらこれまでほとんど論じられることがなかった文献群である。詳細な解説を付す。

関西大学東西学術研究所資料集刊29-3
新聞「泊園」
— 泊園書院資料集成 三 —

吾妻 重二 編著
B4上製函入 444頁 定価 9,350円 (本体 8,500円+税)
ISBN 978-4-87354-647-6 C3021 (2017.3)



大阪を代表する私塾であり、関西大学の知的ルーツのひとつとなった泊園書院の新聞を影印。1927（昭和2）年から1943（昭和18）年まで藤澤黄坡と石濱純太郎を中心として刊行された全77号を原寸大で掲載し、詳細な「記事名・執筆筆者一覧」「人名索引」、「解説」を附す。泊園書院とその学問・人脈、近代漢学、大阪文芸の貴重な資料。

関西大学東西学術研究所資料集刊34
内藤湖南 敦煌遺書調査記録

玄 幸子 高田 時雄 編著
A5上製 500頁 定価 5,500円 (本体 5,000円+税)
ISBN 978-4-87354-592-9 C3022 (2015.1)



関西大学図書館内藤文庫の中から、湖南はじめ5名の京都大学教官が1910（明治43）年9月に北京で行った敦煌遺書調査記録「清國學部所藏敦煌石室寫經繙閱目錄」および湖南が欧州調査のために抄写した董康「敦煌莫高窟藏書録」の原稿（墨書と鉛筆書二種）を影印し校録を附したもので、内藤湖南の敦煌学を知るための基本資料である。

関西大学東西学術研究所資料集刊35
関西大学長澤文庫蔵琉球官話課本集

内田 慶市 編著
B5上製 374頁 定価 7,150円 (本体 6,500円+税)
ISBN 978-4-87354-606-3 C3087 (2015.3)



琉球官話資料はこれまでもいくつか出版されてきているが、この関西大学図書館長澤文庫所蔵本4種（『終有報』『百姓話』『学官話』『中国語会話文例集』）は本邦初のものである。特に『中国語会話文例集』は恐らく明代のもので琉球官話課本としては最も古いものであろう。影印とテキスト翻刻のほか、4篇の論考を付す。

関西大学東西学術研究所資料集刊37
重野安繹やすつぐにおける外交・漢文と国史
— 大阪大学懐徳堂文庫西村天囚旧蔵写本三種 —

陶 徳民 編著
A4上製 258頁 定価 6,600円 (本体 6,000円+税)
ISBN 978-4-87354-608-7 C3021 (2015.3)



昌平黌で「天下の才子」の名声を博した詩文掛、薩英交渉で知性と胆力を示したサムライ外交家。近代日本の文学博士第一号、東京帝国大学史学会の創始者、帝国学士院の幹事。そのような大家の原像を知る手掛かりとなる秘蔵の写本三種（『横濱應接記』、『漢文講義』、『大日本歴史略説』とその英訳本）および貴重な図版31点。

関西大学東西学術研究所資料集刊38

日本台湾統治時代のジャンク型帆船資料 — 中国式帆船のアーカイヴズ —

松浦 章 編著

A4 366頁 定価 4,180円 (本体 3,800円+税)
ISBN 978-4-87354-617-9 C3037 (2015.10)



日清戦争後の1895年以降からおよそ半世紀にわたって、日本が台湾を統治すると、伝統的な中国式帆船いわゆるジャンク型帆船にも船籍の登録が必要となり、多くの台湾の船舶が台湾総督府に船籍登録している。その記録の一部が、旧台湾総督府の公文書類の中に残された。本書はその一部について考察を加え、船籍登録書も影印し紹介する。

関西大学東西学術研究所資料集刊39

吉田松陰と佐久間象山 — 開国初期の海外事情探索者たち (I) —

陶 徳民 編著

A4 288頁 定価 4,730円 (本体 4,300円+税)
ISBN 978-4-87354-630-8 C3021 (2016.3)



下田密航事件をめぐる松陰の義勇、象山の智謀とペリーの仁愛。幕府の『墨夷応接録』、米日和親条約と羅森「日本日記」、松陰自筆の『海国図志』抄録・「投夷書」と下田獄中の嘆願書、象山『省けん録』およびペリーの航海日誌中の松陰乗船記録など、「その時心が動いた」瞬間をキャッチした第一級の文字史料と画像を網羅する入魂の力作。

関西大学東西学術研究所資料集刊39-2

平山省齋と岩瀬忠震 — 開国初期の海外事情探索者たち (II) —

陶 徳民 編著

A4 404頁 定価 6,600円 (本体 6,000円+税)
ISBN 978-4-87354-676-6 C3021 (2018.3)



明治維新150周年に当たり、あえて安政期の外交で活躍し儒教的理念と世界的視野を持合せた幕吏の代表作を提示する。扉絵としてカラー図版113点、第1部は『地理全志』・『満清紀事』、第2部は『省齋年譜草案』・『省齋遺稿』、第3部は忠震自筆の『輿地便覧』と大槻文庫旧蔵『瀛環表』などを収録。よって「敗者」側の功績と精神を後世に伝える。

関西大学東西学術研究所資料集刊40-1

北京官話全編の研究 (上巻) — 付影印・語彙索引 —

内田 慶市 編

B5上製 756頁 定価 7,810円 (本体 7,100円+税)
ISBN 978-4-87354-644-5 C3087 (2017.2)



19世紀末に日本人の領事、深澤暹が編集した『北京官話全編』は、全378章からなり、『語言自邇集』(T. F. Wade)を凌ぐ北京語研究の極めて重要な資料である。今回、それを完全影印し、さらに、輪読会のメンバーによる研究論文および全語彙索引を付して三巻本として上梓するが、学界に裨益すること大である。

関西大学東西学術研究所資料集刊40-2

北京官話全編の研究 (中巻) — 付影印・語彙索引 —

内田 慶市 編

B5上製 760頁 定価 7,810円 (本体 7,100円+税)
ISBN 978-4-87354-658-2 C3087 (2017.5)



19世紀末に日本人の領事であった深澤暹が編集した『北京官話全編』は、全378章からなり、『語言自邇集』(T. F. Wade)を凌ぐ北京語研究においては、極めて重要な資料である。今回、それを完全に影印し、研究論文および全語彙索引を付して三巻本として上梓するが、本書はその中巻である。

関西大学東西学術研究所資料集刊40-3

北京官話全編の研究 (下巻) — 付影印・語彙索引 —

内田 慶市 編著

B5上製 962頁 定価 9,680円 (本体 8,800円+税)
ISBN 978-4-87354-673-5 C3087 (2018.3)



19世紀末に日本人の領事であった深澤暹が編集した『北京官話全編』は、全378章からなる北京語研究においては、極めて重要な資料である。今回、それを完全に影印し、研究論文および全語彙索引を付して三巻本として上梓するが、本書はその結びとなる下巻として、研究論文と語彙索引を収めた。

関西大学東西学術研究所資料集刊41

内藤湖南 敦煌遺書調査記録 續編 — 英佛調査ノート —

玄 幸子 高田 時雄 編

B5上製 656頁 定価 7,590円 (本体 6,900円+税)
ISBN 978-4-87354-646-9 C3022 (2017.3)



『内藤湖南 敦煌遺書調査記録』の続編。1924 (大正13)年から1925 (大正14)年にかけて、内藤湖南一行がヨーロッパに渡航し、ロンドンおよびパリで敦煌写本の調査を行った。本書は、関西大学内藤文庫に所蔵される記録ノート全13冊を、解説と索引を附して影印するものである。内藤湖南の敦煌学を知るための基本資料となる一冊。

関西大学東西学術研究所資料集刊43

日本の近世近代絵画と文化交渉

中谷 伸生 著

B5上製 298頁 定価 5,390円 (本体 4,900円+税)
ISBN 978-4-87354-675-9 C3071 (2018.3)



江戸時代から現代に至る日本近世近代絵画史研究。江戸時代の大阪画壇の絵画を含む狩野派、四条派、文人画から近代および現代絵画までの交流を扱う論考。日本の絵画を中心とする中国、台湾、フランス、スペインなどの絵画との比較研究。新資料を数多く掲載した研究書で、美術史的な文化交渉学の可能性を問う。

関西大学東西学術研究所資料集刊44

『拝客訓示』の研究

— 解題と影印 —

内田 慶市 編著

B5上製 252頁 定価 6,380円 (本体 5,800円+税)
ISBN 978-4-87354-692-6 C3016 (2019.3)



マテオ・リッチを始めとするイエズス会宣教師の手によると思われる東西文化に関わる中国語の問答集。これを通して、当時の西洋人の中国観や中国人のヨーロッパに関する知識の伝播を知ることが出来る極めて貴重な資料である。文化交流の資料としてだけでなく、近代中国語研究においても本書の刊行は極めて有益な物である。

関西大学東西学術研究所資料集刊45

シャルトル大聖堂

— 秋山博愛撮影写真追懐 —

中谷 伸生 編著

A4上製 246頁 定価 6,380円 (本体 5,800円+税)
ISBN 978-4-87354-696-4 C3070 (2019.3)



長らく関西大学の教壇に立った故・秋山博愛教授撮影の1960年代から1970年代のシャルトル大聖堂についての写真集で、修道院活動に関する講義ノートを収録。同時に、関西大学教授中谷伸生撮影による2008年以後の写真と論文を収録し、21世紀に入って大修理を進めるシャルトルの新旧の表情を紹介する。

関西大学東西学術研究所資料集刊46

戦ひの記 インパール作戦

— 「弓」師団長 田中信男従軍記 —

増田 周子 編著

B5上製 198頁 定価 4,510円 (本体 4,100円+税)
ISBN 978-4-87354-702-2 C3021 (2019.3)



インパール作戦第33師団「弓」師団長田中信男中将の『従軍日誌』全文初公開！ 従軍作家火野葦平が託され、日本に持ち帰った貴重な日誌！ 戦後70年以上を経た現在「死の作戦」と言われた戦争の真実が克明に活写され、師団長の苦悩や陸軍上層部の暴挙の様が浮かび上がる。世界平和を改めて考えるための必読の書。

関西大学東西学術研究所資料集刊47

『華英通語』四種 — 解題と影印

内田 慶市 田野村 忠温 編著

B5上製 670頁 定価 11,000円 (本体 10,000円+税)
ISBN 978-4-87354-719-0 C3087 (2020.3)



『華英通語』は、中国で出版された英語の単語と会話文例を収めた書物である。本書はその『華英通語』の道光版をはじめ、19世紀に商人として中国に渡ったイギリス人、ロバート・トームの「華英通語雑話」など貴重な四種を影印、詳しい解題を付している。いずれも日中欧言語接触研究の貴重な資料であることは言うまでもない。

関西大学東西学術研究所資料集刊48

南京官話資料集

— 《拉丁語南京語詞典》他二種 —

内田 慶市 編著

B5上製 494頁 定価 8,250円 (本体 7,500円+税)
ISBN 978-4-87354-718-3 C3087 (2020.3)



19世紀中葉以降、北京官話が、それまで広く使用された南京官話に取って代わるという事象が起きた。南京官話に関する資料は少ないが、今回、これまで目に触れることのない資料三種（ラテン語南京語辞典、教義問答、南京会話テキスト）を解題を付けて影印し、研究者の便に供することとした。

関西大学東西学術研究所資料集刊49

『造洋飯書』の研究

— 解題と影印 —

内田 慶市 編著

B5上製 396頁 定価 7,700円 (本体 7,000円+税)
ISBN 978-4-87354-733-6 C3039 (2021.3)



16世紀以降、イエズス会宣教師をその主な担い手とする「西学東漸」という一大潮流が巻き起こり、様々なものが西から東にもたらされた。本書は中国で最初に出版された西洋料理レシピ本である『造洋飯書』(1866) と、その後継である『西法食譜』(1889) を影印。解題として「近代中国における西洋料理の伝播と受容 — 『造洋飯書』を中心に」を付した。

関西大学東西学術研究所資料集刊50

内藤湖南の人脈と影響

— 関西大学内藤文庫所蔵還暦祝賀及び葬祭関連資料に見る —

陶 徳民 編著

B5 246頁 定価 7,480円 (本体 6,800円+税)
ISBN 978-4-87354-752-7 C3021 (2022.3)



内藤湖南 (1866-1934) の還暦祝賀および葬祭記録から、京大東洋史教授・書画研究者・政論家として築かれたその広汎な人脈が窺える。第一級史料と画像、同時代の報道や回想、手堅い論考にて実証する。編著者による解説「晩年の湖南 — 還暦前後から一周忌までの事ども」、高田時雄氏による特別寄稿「ポール・ペリオと内藤湖南」を収録。

関西大学東西学術研究所資料集刊51

北京官話資料8種「京華襍拾」

— 解題と影印・語彙索引 —

内田 慶市 編著

B5上製 374頁 定価 8,140円 (本体 7,400円+税)
ISBN 978-4-87354-753-4 C3087 (2022.3)



カルフォルニア大学バークレー校東アジア図書館所蔵の北京官話資料8種（京話指南、三字經、千字文、大学、中庸、意拾喩言、一塊金錢、聖諭廣訓）は、最近発見された。18世紀末に著わされたと思われるこれらを影印し、解題と語彙索引を付した。北京官話研究に新しい資料が加わり、研究者にとって裨益すること大であると確信する。

関西大学経済・政治研究所出版図書

関西大学経済・政治研究所研究双書第158冊
地域社会と情報環境の変容
— 地域における主体形成と活性化の視点から —

吉岡 至 編著
A5上製 330頁 定価 3,630円 (本体 3,300円+税)
ISBN 978-4-87354-581-3 C3036 (2014.3)



戦後一貫して首都圏に政治・経済・文化の諸活動が集中する一方で、「中央」に対する「地方」の衰退や「コミュニティ」の崩壊が問題となってきた。本書は、地域社会の復興、維持、発展に向けた情報環境の整備に焦点を当て、具体的な調査事例に基づきながら、地域メディアの活動と役割を捉え直し、今後の課題や方向性を示す。

関西大学経済・政治研究所研究双書第159冊
**子どもの安全と
リスク・コミュニケーション**

関西大学経済・政治研究所 子どもの安全とリスク・コミュニケーション研究班 編
A5 262頁 定価 2,530円 (本体 2,300円+税)
ISBN 978-4-87354-582-0 C3037 (2014.3)



関西大学経済・政治研究所「子どもの安全」班による研究成果。リスクマネジメントの基本的な考え方、子どもを取り巻くリスク、子どもを持つ生活者のリスクマネジメント、ケータイと子どもの安全、メンタルヘルスと子どもの安全、お受験とリスクマネジメント、個人情報保護の保護、参加型手法を取り入れた防災教育、学校の危機管理と防災教育。

関西大学経済・政治研究所研究双書第160冊
東アジア経済・産業のダイナミクス

関西大学経済・政治研究所 東アジア経済・産業研究班 編
A5上製 260頁 定価 4,180円 (本体 3,800円+税)
ISBN 978-4-87354-612-4 C3034 (2015.3)



歴史や文化、経済など多くの側面において相互に深いつながりを持ち、世界経済の成長を牽引する東アジア諸国は、相互関係をより深化させる必要がある。このことは域内の「共存共栄」の実現だけでなく、世界全体の持続的発展にも直結する。本書は、東アジアに生起する多様な事象を経済、政策、経営、応用数学などの視点から考える。

関西大学経済・政治研究所研究双書第163冊
市民マラソンがスポーツ文化を変えた

亀井克之 杉本厚夫 西山哲郎 増田明美 著
尾久裕紀 吉田香織 打越忠夫 協力
A5 184頁 定価 1,650円 (本体 1,500円+税)
ISBN 978-4-87354-648-3 C3075 (2017.3)



2007年の第1回東京マラソン開催以来、「市民マラソン」がブームとなっている。本書は「スポーツ文化」をキーワードに、この社会現象にアプローチする。地域振興型マラソンのいすみ健康マラソンの事例、都市型マラソンとしての大阪マラソン、マラソン大会のリスク管理など、スポーツ文化を軸にした広範なディスカッションを盛り込む。

関西大学経済・政治研究所研究双書第167冊
市民自治の育て方
— 協働型アクションリサーチの理論と実践 —

草郷 孝好 編著
A5上製 170頁 定価 1,870円 (本体 1,700円+税)
ISBN 978-4-87354-670-4 C3036 (2018.3)



SDGsが示す持続する社会の実現には、地域社会の当事者である市民-行政-NPOの協働がカギを握る。この当事者協働を促し、ボトムアップ型の市民自治を醸成するために、研究者にできることは何か？ 本書は、学際的研究班の研究成果をもとに、実践的研究の必要性、理論、特色、倫理等を概説し、先駆的取り組みを紹介する。

関西大学経済・政治研究所研究双書第168冊
財政の健全化と公会計改革

柴 健次 編著
A5上製 200頁 定価 2,200円 (本体 2,000円+税)
ISBN 978-4-87354-671-1 C3033 (2018.3)



現金ベースの予算と発生ベースの会計がどのように関連付けられるかが重要である。本研究では、財政、会計、管理、評価、格付けという分野での個別論点を棚卸し、今後の研究への足掛かりとした。その観点から、財政の健全化には会計情報の活用が重要であることを論じている。特に、吹田市における管理会計的な具体的利用の研究成果を紹介。

関西大学経済・政治研究所研究双書第172冊
続・市民マラソンがスポーツ文化を変えた

亀井克之 杉本厚夫 西山哲郎 増田明美 吉田香織
尾久裕紀 著/打越忠夫 白方健一 M高史 協力
A5 118頁 定価 1,760円 (本体 1,600円+税)
ISBN 978-4-87354-717-6 C3075 (2020.3)

主な内容「ロンドンマラソンに見る物語性」、「ベルリンマラソンのマジック」、「大阪マラソンのボランティアをプランディングする」、「大阪マラソンによる自己変革と組織変革」、「市民ランナーとトップランナーの交流に学ぶ」。ロンドン、ベルリン、大阪マラソンなど、市民マラソンがスポーツ文化にもたらしたものは何かを考察。

電子書籍一覧

電子書籍は丸善雄松堂 (Knowledge Worker / Maruzen eBook Library) および紀伊國屋書店 (Kinoden)、ProQuest Ebook Centralほかにて配信しています。ご購入方法・価格等は各ストアにてご確認ください。

哲学・心理学・宗教

詩と哲学のあわい	2
スピノザとフロイト	6
現実と落着	6
落着と実在	6
意味論の内と外	7

歴史・地理

スイス観光業の近現代	2
19世紀スペインにおける連邦主義と歴史認識	9

社会科学総記

食べ物の履歴書	3
辰巳経世著作集	10
Japan's Economic Relations with Africa in a Historical Perspective	10
大学生、福島を聴く	10
グローバリゼーションを規律する Money と Justice の関係について	10
アカデミアが挑む SDGs	10

政治

現代日本の政治思想的考察	11
ポピュリズムの現代	11
西ヨーロッパ・キリスト教民主主義の研究	11
アメリカが生む／受け入れる難民	11

法律

法的思考のススメ	12
シチリア海法序説	12
インドの憲法 [新版]	12
米軍基地問題の基層と表層	13
権利能力なき社団と民法上の組合	13

経済・経営

環境政策と責任保険	2
戦後日本の資本利益率格差	14
Risk Management	15
1930年代における日本の金融政策	15
フレデリック・テイラーとマネジメント思想	15

社会

ソーシャルワーク実践における社会資源の創出	16
ポスト・ソーシャル時代の福祉実践	17
メディア スポーツ 20世紀	17
〈体育会系女子〉のポリティクス	17
初期シカゴ学派の人間生態学の展開	17
災害報道とリアリティ	17

教育

防災教育学の新機軸	2
ポスト・コロナ禍時代のグローバル人材育成	3
大学生の学びを育むオンライン授業のデザイン	18
持続的な学びのための大学授業の理論と実践	19
大学教育の国際化への対応	19
大学での学び	19

自然科学

なぜビタミンCは健康にいいのか	20
-----------------	----

芸術・生活

日仏対訳 フランス医療機関におけるアート	3
〈現場〉のアイドル文化論	22
日英仏 日本拳法の基本習得教書	22

語学

謎解きとコミュニケーション	3
外国語学習とコミュニケーションの心理	23

17世紀フランス文法家証言集Ⅳ	23
17世紀フランス文法家証言集Ⅴ	23
17世紀フランス文法家証言集Ⅵ	23
17世紀フランス文法家証言集Ⅶ	23
英語教育に生かす英語語法学	23
英語語法学の展開	24
英語ことわざ使用の実態	24
現代中国語における情報源表出形式	24
現代中国語アスペクトの体系的研究	24
コミュニケーションのための英語音声学研究	24
ウソと欺瞞のレトリック	25

文学

三国志への道標	26
実践知性としての英文学研究	26
ヘンリー・ジェイムズ短編選集	26
銀行家たちのロマン主義	27
杜甫詩文集の形成に関する文献学的研究	27
ダニエル・デフォー研究	27
チロルの悲劇	27
サラ・ブジョル・ラッセル詩集	28
アラン・ロブ＝グリエの小説Ⅱ	28

関西大学東西学術研究所出版図書

東西学術研究と文化交渉	31
東南アジアの華人廟と文化交渉	31

関西大学経済・政治研究所出版図書

続・市民マラソンがスポーツ文化を変えた	36
---------------------	----

著訳編者名索引

ア

浅野宜之	12
鯨坂真	10
吾妻重二	5、30、31、32、33
安藤輝次	19
飯島暢	12
池島正興	14
池田佳子	3、19
池田進	6、7
石原敏子	27
井谷聡子	17
伊藤誠宏	23
井上克人	2、29
井上泰山	26
井上宏	16
イバン・ディアス・サンチョ	28
今井弘	20
岩崎千晶	3、18
岩見和彦	16
鵜飼康東	27
宇佐見太市	26
宇佐美幸彦	22、27
打越忠夫	36
内田慶市	7、30、33、34、35
M高史	36
大倉雄次郎	14
大津留（北川）智恵子	11
岡田忠克	17
緒方正則	21
尾久裕紀	36
奥和義	14
奥純	28
奥田隆一	23、24
奥村佳代子	30
尾島史賢	12
小田桐奈美	24
小幡斉	20

カ

カイト由利子	18
カール・インマーマン	27
柏木治	27
片桐新自	16
加藤雅人	7
亀井克之	3、15、22、36
カルロス・フランシスコ・モンヘ	32
川口浩一	12
河村厚	6
関西大学経済史研究会	14
関西大学経済・政治研究所 子どもの安全と リスク・コミュニケーション研究班	36
関西大学経済・政治研究所 東アジア経済・ 産業研究班	36
関西大学ジェイン・オースティン研究会	4、26
KANDAI for SDGs 推進プロジェクト	10
菊地歌子	24
菊池信彦	9
北川勝彦	10
北川央	8
ギュンター・ヤコブス	12
草郷孝好	36
久保田賢一	18
熊谷明泰	8
栗田和彦	12
黒田勇	17
黒田研二	17
桑名謹三	2
玄幸子	4、33、34
高明均	24
孝忠延夫	12
小嶋美由紀	24
後藤元伸	13
木庭元晴	8
小林剛	22
近藤誠司	2、17

サ

酒井友里	27
笹川慶子	8
佐藤真人	14
サラ・ブジョル・ラッセル	28
四方美智子	26
柴健次	36
芝田豊彦	6
章培恒	26
J・ロバート・レノン	26
下間頼一	21
白方健一	36
沈国威	4、30、31
菅原慶乃	29
杉本厚夫	36
関屋俊彦	22

タ

戴耀晶	24
高作正博	13
高田時雄	33、34
田中俊也	19
田野村忠温	35
鼓宗	28、31
陶徳民	4、9、22、26、30、31、33、34、35
土倉莞爾	11

ナ

内藤友紀	15
永田憲史	12
中谷伸生	31、34、35
二階堂善弘	31、32
西川知亨	17
西山哲郎	36
蜷川順子	3、30
野村幸正	6

ハ

バイサウスドン	3
狭間香代子	16、17
橋口勝利	10
長谷部剛	22、27

羽原敬二	15
浜本隆志	8
原田輝彦	10
原田正俊	29
ハンス・シュナイダー	6
ビセンテ・ウイドプロ	31
平田渡	31、32
廣川嘉裕	11
廣瀬幹好	15
福田公教	17
藤田高夫	3
古川智樹	3、18
プールオミッドサッジャド	3
ベネットアレキサンダー	3
ヘンリー・ジェイムズ	26
干井洋一	27
細川裕史	8
堀潤之	29

マ

前田裕	3
増田明美	36
増田周子	4、29、35
松浦章	8、29、30、32、34
マルセリーノ・アヒース＝ビリャベルデ	31
溝井裕一	8
本村康哲	3
森仁志	8
森隆男	18、29
森貴史	8、22
森本慶太	2

ヤ

八島智子	23
藪田貫	22
山口卓也	18
山寺三知	22
山根繁	24
山本幾生	6
山本英一	3、25
吉岡至	36
吉田香織	36
吉田宗弘	3
米田文孝	18

ラ

駱玉明	26
ラモン・ゴメス・デ・ラ・セルナ	32
李佳樑	24
李奭學	7
李春喜	26
劉雄峰	32

ワ

和田葉子	30
------	----

書名索引

ア

アカデミアが挑む SDGs	10	環境政策と責任保険	2
飛鳥藤原京の山河意匠	8	関西大学と大正ロマンの世界	8
あなたは加害者？ それとも被害者？	12	関西大学長澤文庫蔵琉球官話課本集	33
アメリカが生む／受け入れる難民	11	技術の文化史Ⅱ	21
アメリカン・リアリズムの系譜	22	競争戦略と経営システムの構築	14
新たなリスクと中小企業		銀行家たちのロマン主義	27
(Les PME face aux nouveaux risques)	15	均衡経路の不安定性	14
アラン・ロブ＝グリエの小説Ⅱ	28	近世東アジア海域の帆船と文化交渉	29
祈りの形にみる西洋近世	3	近世東アジアにおける口語中国語文の研究	30
意味論の内と外	7	近代東アジア海域の人と船	29
インドの憲法〔新版〕	12	クレアシオニズムの詩学	31
ウソと欺瞞のレトリック	25	グローバリゼーションを規律する	
英語教育に生かす英語語法学	23	Money と Justice の関係について	10
英語ことわざ使用の実態	24	経済発展と交通・通信	14
英語語法学の展開	24	現実と落着	6
Abraham Lincoln, Samuel Williams and		現代アメリカ国債管理政策史	14
East Asia	31	現代社会の福祉実践	17
英米の絵本の窓から	27	現代中国語アスペクトの体系的研究	24
越境の映画史	29	現代中国語における情報源表出形式	24
越境の野球史	8	現代日本の政治思想的考察	11
EMMA VOL. Ⅱ	26	〈現場〉のアイドル文化論	22
EMMA VOL. Ⅲ	4	権利能力なき社団と民法上の組合	13
大阪の笑い	16	語彙力の獲得	4
		構成主義パラダイムと学習環境デザイン	18
		個人科学としての心理学	6
		古新聖經殘稿 外二種 北堂本與滿漢合璧本	7
		コスタリカ選詩集—緑の祈り	32
		古代の中国文化を探る	20
		子どもの安全とリスク・コミュニケーション	36
		コミュニケーションのための英語音声学研究	24

カ

外国語学習とコミュニケーションの心理	23
外国語コミュニケーションの情意と動機	23
『華英通語』四種—解題と影印	35
家礼文献集成 日本篇 三	32
家礼文献集成 日本篇 四	32
家礼文献集成 日本篇 五	32
家礼文献集成 日本篇 六	32
家礼文献集成 日本篇 七	33
家礼文献集成 日本篇 八	33
家礼文献集成 日本篇 九	33
家礼文献集成 日本篇 十	33
家礼文献集成 日本篇 十一	5

サ

災害報道とリアリティ	17
財産的刑事制裁の研究	12
財政の健全化と公会計改革	36
えも言われぬ美しさの、きらびやかにして、永遠なる	
サーカス	32
サラ・プジョル・ラッセル詩集	28
三国志への道標	26

重野安繹 <small>やすつぐ</small> における外交・漢文と国史	33
持続的な学びのための大学授業の理論と実践	19
時代を生きる若者たち	16
シチリア海法序説	12
実践知性としての英文学研究	26
詩と哲学のあわい	2
市民自治の育て方	36
市民マラソンがスポーツ文化を変えた	36
シャルトル大聖堂	35
19世紀スペインにおける連邦主義と歴史認識	9
17世紀フランス文法家証言集Ⅳ	23
17世紀フランス文法家証言集Ⅴ	23
17世紀フランス文法家証言集Ⅵ	23
17世紀フランス文法家証言集Ⅶ	23
松陰とペリー	31
情報社会の伝統詩	27
縄文鼻曲がり仮面	7
初期シカゴ学派の人間生態学の展開	17
新課程 博物館学ハンドブック1	18
新課程 博物館学ハンドブック2	18
新課程 博物館学ハンドブック3	18
新聞「泊園」	33
神話から神化へ	32
スイス観光業の近現代	2
スタンダールのオイコノミア	27
スピノザとフロイト	6
住まいと集落が語る風土	29
西教東漸と中日事情	30
西土 <small>せいしよ</small> 與近代中國：羅伯聃研究論集	31
政府-NPO 関係の理論と動向	11
1955年「アジア諸国会議」とその周辺	29
1930年代における日本の金融政策	15
戦後日本経済と政策金融	10
戦後日本の資本利益率格差	14
戦争と文学の交渉	4
『造洋飯書』の研究	35
続狂言史の基礎的研究	22
続・市民マラソンがスポーツ文化を変えた	36
続・青春の変貌	16
ソーシャルワーク実践における社会資源の創出	16
存在・感情・政治	6

タ

〈体育会系女子〉のポリティクス	17
大学教育の国際化への対応	19
大学生の学びを育むオンライン授業のデザイン	18
大学生の学びを育む学習環境のデザイン	18
大学生、福島を聴く	10
大学での学び	19
戦ひの記 インパール作戦	35
辰巳経世著作集	10
ダニエル・デフォー研究	27
食べ物の履歴書	3
地域社会と情報環境の変容	36
中国文学史新著（増訂本）下巻	26
朝鮮における戦時「国語常用」政策下の「毎日新報」	8
チロルの悲劇	27
天保七年薩摩片浦南京船金全勝號資料	32
ドイツ奇人街道	8
ドイツにおけるラディカルな敬虔主義 <small>けいけん主義</small>	6
東西学術研究と文化交渉	31
東南アジアの華人廟と文化交渉	31
東洋汽船と映画	8
〈時〉と〈鏡〉 超越的覆蔵性の哲学	29
杜甫詩文集の形成に関する文献学的研究	27

ナ

国際シンポジウム論文集	
内藤湖南研究の最前線	4
国際シンポジウム論文集	
内藤湖南と石濱純太郎 近代東洋学の射程	4
内藤湖南 敦煌遺書調査記録	33
内藤湖南 敦煌遺書調査記録 續編	34
内藤湖南の人脈と影響	35
なぜビタミンCは健康にいいのか	20
謎解きとコミュニケーション	3
なにわの事もゆめの又ゆめ	8
南京官話資料集	35
西ヨーロッパ・キリスト教民主主義の研究	11
日英仏 日本拳法の基本習得教書	22
日仏対訳 フランス医療機関におけるアート	3
日本古代中世の仏教と東アジア	29
日本台湾統治時代のジャンク型帆船資料	34
日本的リスクマネジメント理論の現代的意義	15

日本における近代中国学の始まり	26
日本の近世近代絵画と文化交渉	34
日本貿易の発展と構造	14

ハ

『拝客訓示』の研究	35
泊園書院と漢学・大阪・近代日本の水脈	30
泊園書院と大正蘭亭会百周年	22
林謙三『隋唐燕楽調研究』とその周辺	22
東アジア経済・産業のダイナミクス	36
東アジア言語接触の研究	30
左手のための小作品集	26
人の顔または表情の識別について(下)	6
平山省齋と岩瀬忠震	34
ビルダーボーゲンの研究	22
風景論	31
不透明社会の中の若者たち	16
フランス語発音指導法入門	24
フレデリック・テイラーとマネジメント思想	15
文化交渉学のパースペクティブ	30
米軍基地問題の基層と表層	13
北京官話資料8種「京華襟拾」	35
北京官話全編の研究(上巻)	34
北京官話全編の研究(中巻)	34
北京官話全編の研究(下巻)	34
ヘンリー・ジェイムズ短編選集	26
法益保護によって刑法は正当化できるか?	12
防災教育学の新機軸	2
法的思考のススメ	12
ポスト・コロナ禍時代のグローバル人材育成	3
ポスト・ソヴィエト時代の「国家語」	24
ポスト・ソーシャル時代の福祉実践	17
ポピュリズムの現代	11

マ

my little abc book	27
『 <small>マギョ</small> 馬經諺解』語彙研究	24
『 <small>みこころ</small> 聖心のイコノロジー』	30
聖なるものをめぐる哲学	
ミルチャ・エリアーデ	31
メディア スポーツ 20世紀	17
もう一つの内藤湖南像	9

ヤ

吉田松陰と佐久間象山	34
------------	----

ラ

落着と実在	6
留学生教育の新潮流	18
両大戦間期の日英経済関係の諸側面	14

ワ

わかりやすい刑罰のはなし	12
笑いの力	16
笑いを学問する	16

欧文図書

From Medieval to Modern	30
Japan's Economic Relations with Africa in a Historical Perspective	10
Risk Management	15
The Cultural Interaction of East Asia Seas in the Early Modern	30

関西大学出版部は、第二次世界大戦後の1947（昭和22）年6月に開設されました。当時、岩崎卯一学長が、荒廃した学園の復興を標榜してかかげた「関大ルネッサンス」の一環として構想されたのです。

関西大学における図書出版の始まりは、本学の前身である関西法律学校創立の翌1887（明治20）年11月、『関西法律学校講義録』を発行したことに求められます。以来、本学では各分野の学術論文を学内の機関誌に発表するなど、地道な出版活動を続けてまいりました。

こうした創立期の活動を経て設置された関西大学出版部は、欧米のユニバーシティ・プレスを手本とし、研究者の研究成果を発表することを第一義的な使命と考え、今日まで学術図書の出版に重点を置いてまいりました。現在、大学には教育、研究に加え、社会貢献ということが強く求められていますが、優れた研究成果を出版して世に問うということもまた、大学に課せられた社会貢献のひとつの姿であり、同時に「学の実化」をスローガンとする関西大学の使命を具体化させたものとも言えます。

近年、出版業界において学術図書を出版することは、非常に困難な状況となっております。しかし、そうした時代であればこそ、むしろ、大学出版部が果たすべき役割は重大であると考えます。

今後とも初心を忘れることなく、学術図書の灯をともし続けてまいりたいと、決意を新たにいたしております。

関西大学出版部

〒564-8680 大阪府吹田市山手町 3-3-35

TEL. 06-6368-0238 FAX. 06-6389-5162

E-mail: shuppan@ml.kandai.jp

<https://www.kansai-u.ac.jp/Syppan/>

ご案内

書籍ご注文方法

- お近くの書店にてお買い求めください。
店頭がない場合はお取り寄せいただけます。
(Amazon などのネットストアからもご購入いただけます)
- 当出版部ホームページからご購入いただけます。
www.kansai-u.ac.jp/Syppan/
- 当出版部に直接ご注文ください。
お電話・FAX・はがき・e-mail によるご注文を承ります。
代金引換にてお送りいたします。
ご入用の書名・冊数とお届け先の住所・氏名・電話番号をお知らせください。
配達希望日と時間帯の指定も可能です。

〈送料・手数料〉

送料 500 円（購入価格が税込 2,500 円以上の場合は無料）
代引手数料 300 円

最新情報は当出版部ホームページ・Twitter・Facebook をご確認ください。
この目録には 2023 年 5 月 1 日現在の内容を掲載しております。